

財 政 ノ ー ト

令和 6 年 9 月

大 阪 府

目次

I 大阪府の財政状況	
1. 予算の推移（一般会計）	1
2. 決算額の推移（一般会計）	
(1) 実質収支	3
(2) 歳入決算額	5
(3) 歳出決算額（性質別）	7
（参考）新型コロナウイルス感染症関連事業費を除外した場合の一般会計決算額の推移	11
3. 決算額の推移（普通会計）	
(1) 実質収支	13
(2) 歳入決算額	15
(3) 歳出決算額（目的別）	17
(4) 歳出決算額（性質別）	19
4. 財政健全化法に基づく健全化判断比率等の状況	21
（参考）大阪府財政運営基本条例に定める財政評価指標（令和5年度決算見込）	28
5. 類似団体比較表（普通会計決算と団体の概況）	29
6. 財政力指数と標準財政規模	31
7. 経常収支比率の推移（普通会計）	33
8. 府税収入の状況	
(1) 府税の種類と税目別の収入金額（令和6年度当初予算）	35
(2) 府税収入の推移	36
(3) 主要都府県の税収等の推移（決算）	38
(4) 令和6年度における主な税制改正の概要（道府県税分）	41
(5) 超過課税の状況	42
9. 地方交付税等交付状況	45

10. 地方債の状況	
(1) 地方債の新規発行状況（全会計ベース）	47
(2) 府債残高の推移（全会計ベース）	49
(参考1) 地方債の発行状況（普通会計）	51
(参考2) 地方債の年度末現在高（普通会計）	53
11. 過去の財源対策	55
12. 基金の状況（年度末現在高）	57
13. これまでの行財政改革の取組状況	59
(参考) 大阪府職員数の推移	61
14. 財政状況に関する中長期試算〔粗い試算〕の策定について（令和6年2月版）	63
15. 大阪府財政運営基本条例の概要	71
II 令和6年度当初予算の概要	
1. 令和6年度当初予算のあらまし	73
III 主要施策概要	
1. 私学助成	89
2. 公立学校関係予算	93
3. 社会保障関係経費	95
4. 福祉医療費助成制度	99
5. 都市整備事業	103
(1) 道路・街路事業	104
(2) 治水事業	105
(3) 下水道事業	106
(4) 公園事業	107
6. 府営住宅建設事業	109
7. 関西国際空港の整備推進	111

IV 国の財政と地方財政

1. 令和6年度国一般会計予算の概要	113
2. 令和6年度地方財政計画（通常収支分）の概要	114
3. 国一般会計予算額及び地方財政計画の推移	115
4. 国・地方の長期債務残高の推移	117
5. 国・地方のプライマリーバランス等の推移	119

会計区分について

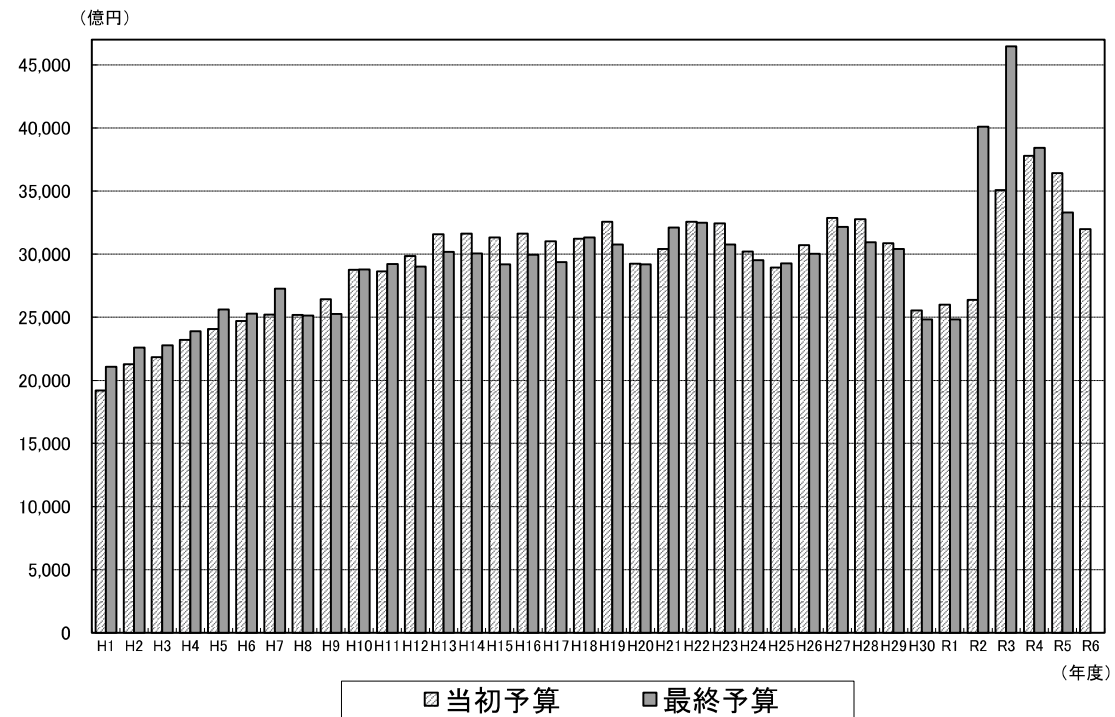
大 阪 府 の 会 計	○一般会計 地方公共団体の行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計で、特別会計で計上される以外のすべてを経理する中心的な会計。 （例）教育費、都市整備費、警察費、福祉費、商工労働費 等 ○特別会計（令和6年度：17会計） 特定の事業を行う場合又は特定の歳入をもって特定の歳出に充て一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合に、その経理を明確にするため、法律や条例に基づいて設置。 (1) 日本万国博覧会記念公園事業 (2) 就農支援資金等 (3) 大阪府営住宅事業 (4) 港湾整備事業 (5) 関西国際空港関連事業 (6) 不動産調達 (7) 市町村施設整備資金 (8) 公債管理 (9) 地方消費税清算 (10) 母子父子寡婦福祉資金 (11) 国民健康保険 (12) 中小企業振興資金 (13) 沿岸漁業改善資金 (14) 林業改善資金 ・企業会計 特別会計のうち、独立採算制を原則とする企業的色彩の強い事業を行う場合に、地方公営企業法の規定の全部又は一部の適用を受けて設置する会計で、一般会計などとは異なり企業会計の方式によって経営。 (15) 大阪府中央卸売市場事業 (16) 大阪府流域下水道事業 (17) 大阪府まちづくり促進事業
各 都 道 府 県 を 比 較 す る た め の 会 計 区 分	○普通会計 個々の地方公共団体が設けている各会計の範囲が異なっていることなどにより、地方公共団体間の財政比較や統一的な掌握が困難であるため、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分であり、一般会計と公営事業会計（大阪府の場合、企業会計、港湾整備事業及び国民健康保険）に含まれない特別会計を合算（会計間の重複を除く）したもの。

※本冊子中に掲載している表、グラフ、図中の数値について、単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計とが一致しない場合や、指数、増減率等が計算と合わない場合がある。

※本冊子中に掲載している予算や決算額の推移などの表中、強調した表示をしている金額等は当該項目におけるピークを示している。

I 大阪府の財政状況

1. 予算の推移（一般会計）



1. 予算の推移（一般会計）

（単位：億円）

区分 年度	当初予算		《参考》 当初予算 （調整後）		最 終 予 算		《参考》 最終予算 （調整後）		地財計画 伸率	国一般会計 伸率
		対前年度 伸率		対前年度 伸率		対前年度 伸率		対前年度 伸率		
		%		%		%		%	%	%
H1	19,197	12.3	19,197	12.3	21,081	10.6	21,081	10.6	8.6	6.6
H5	24,067	3.7	24,067	3.7	25,608	7.3	25,608	7.3	2.8	0.2
H10	28,765	8.9	26,049	1.3	28,784	13.9	26,614	8.3	0.0	0.4
H15	31,316	△ 0.9	28,782	△ 1.6	29,187	△ 2.9	26,691	△ 4.1	△ 1.5	0.7
H20	29,247	△ 10.2	26,794	△ 10.6	29,187	△ 5.1	26,850	△ 4.9	0.3	0.2
H21	30,397	3.9	27,829	3.9	32,114	10.0	29,758	10.8	△ 1.0	6.6
H22	39,184 (32,555)	28.9 (7.1)	36,867 (30,238)	32.5 (8.7)	39,101 (32,472)	21.8 (1.1)	36,636 (30,007)	23.1 (0.8)	△ 0.5	4.2
H23	32,426	△ 17.3 (△ 0.4)	29,858	△ 19.0 (△ 1.3)	30,771	△ 21.3 (△ 5.2)	28,376	△ 22.5 (△ 5.4)	0.5	0.1
H24	30,192	△ 6.9	27,746	△ 7.1	29,515	△ 4.1	27,086	△ 4.6	△ 0.8	△ 2.2
H25	28,948	△ 4.1	26,564	△ 4.3	29,268	△ 0.8	26,883	△ 0.8	0.1	2.5
H26	30,713	6.1	27,837	4.8	30,034	2.6	27,019	0.5	1.8	3.5
H27	32,886	7.1	28,361	1.9	32,157	7.1	27,409	1.5	2.3	0.5
H28	32,772	△ 0.3	28,215	△ 0.5	30,949	△ 3.8	26,797	△ 2.2	0.6	0.4
H29	30,866	△ 5.8	26,393	△ 6.5	30,405	△ 1.8	25,709	△ 4.1	1.0	0.8
H30	25,543	△ 17.3	25,543	△ 3.2	24,841	△ 18.3	24,841	△ 3.4	0.3	0.3
R1	25,983	1.7	25,983	1.7	24,838	△0.0	24,838	△0.0	3.1	3.8
R2	26,368	1.5	26,368	1.5	40,090	61.4	40,090	61.4	1.3	1.2
R3	35,086	33.1	35,086	33.1	46,452	15.9	46,452	15.9	△ 1.0	3.8
R4	37,798	7.7	37,798	7.7	38,422	△ 17.3	38,422	△ 17.3	0.9	0.9
R5	36,421	△ 3.6	36,421	△ 3.6	33,311	△ 13.3	33,311	△ 13.3	1.6	6.3
R6	31,972	△ 12.2	31,972	△ 12.2	—	—	—	—	1.7	△ 2.0

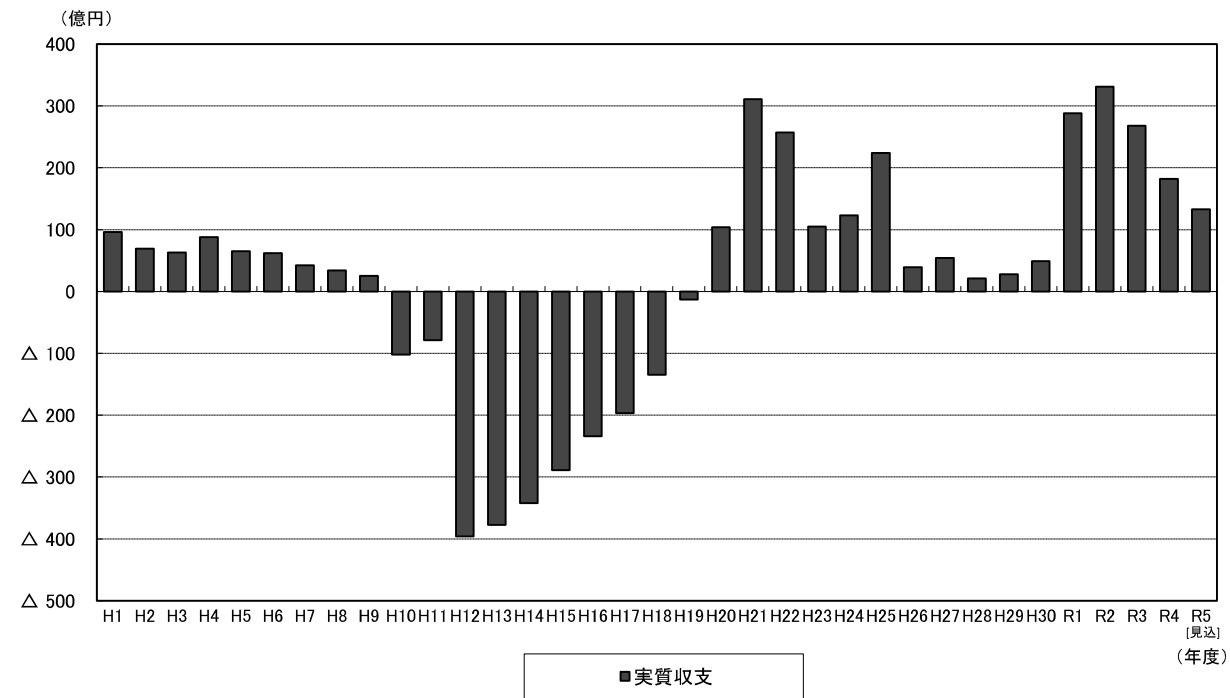
（注1）H30.4から地方消費税清算特別会計を設置したことに伴い、H30の当初予算（一般会計）から、関連予算（地方消費税清算金）を含んでいない。
 なお、《参考》当初予算（調整後）及び《参考》最終予算（調整後）の数値は、関連予算を調整（控除）した数値。

（注2）（ ）内は、基金からの借入れ見直しに係る償還金(6,629億円)を除く実質的な予算規模や伸率を示す。

（注3）H24以降の地財計画伸率は通常収支分（東日本大震災分を含まない。）のみの数値。

2. 決算額の推移（一般会計）

（１） 実質収支（一般会計）



(1) 実質収支（一般会計）

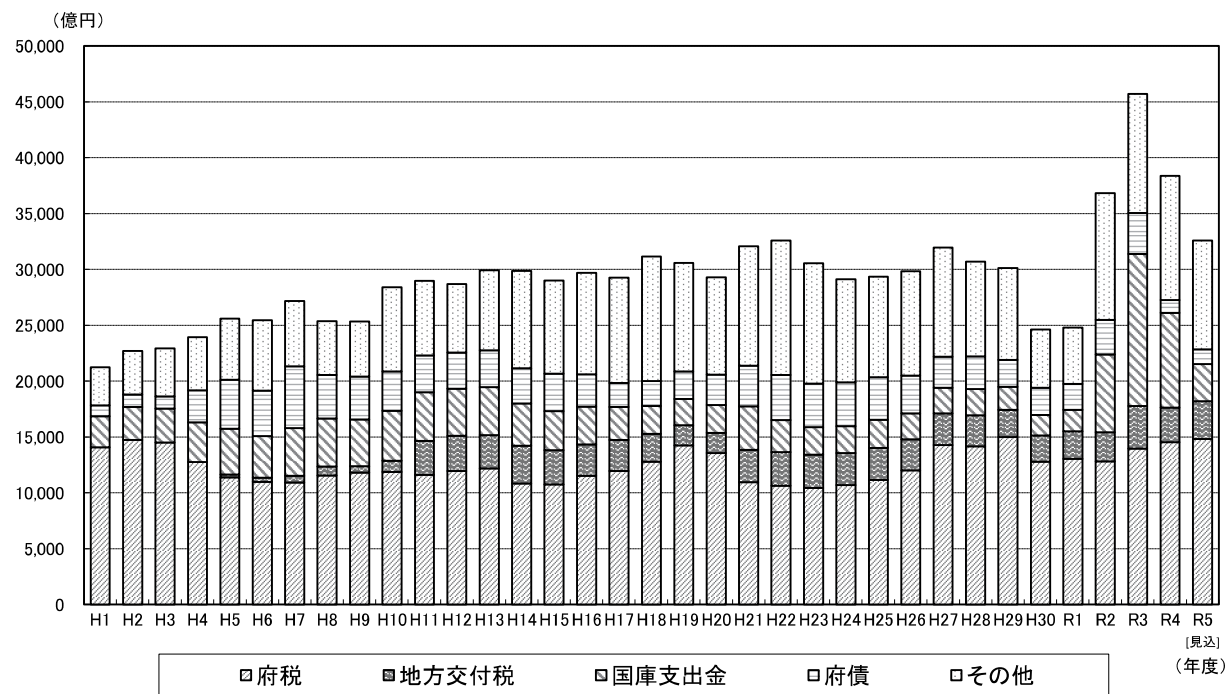
(単位：億円)

区分 年度	当初予算	最終予算	歳入決算額	歳出決算額	実質収支
H1	19,197	21,081	21,248	21,095	96
H5	24,067	25,608	25,604	25,401	65
H10	28,765	28,784	28,405	28,384	△ 102
H15	31,316	29,187	29,010	29,068	△ 289
H20	29,247	29,187	29,291	29,114	104
H21	30,397	32,114	32,060	31,654	311
H22	39,184 (32,555)	39,101 (32,472)	39,168 (32,580)	38,847 (32,218)	257
H23	32,426	30,771	30,560	30,377	105
H24	30,192	29,515	29,132	28,931	123
H25	28,948	29,268	29,366	29,014	224
H26	30,713	30,034	29,815	29,684	39
H27	32,886	32,157	31,955	31,831	54
H28	32,772	30,949	30,701	30,608	21
H29	30,866	30,405	30,119	30,001	28
H30	25,543	24,841	24,631	24,477	49
R1	25,983	24,838	24,811	24,396	288
R2	26,368	40,090	36,835	36,378	331
R3	35,086	46,452	45,701	45,303	268
R4	37,798	38,422	38,357	37,995	182
R5	36,421	33,311	(見込) 32,593	(見込) 32,338	(見込) 133
R6	31,972	—	—	—	—

(注1) () 内は、基金からの借入れの見直しに伴う特例償還(歳入：6,588億円、歳出：6,629億円)を除く実質的な予算・決算規模を示す。

(注2) 実質収支とは、歳入歳出差引額(形式収支)から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した決算額である。

(2) 歳入決算額（一般会計）



(2) 歳入決算額（一般会計）

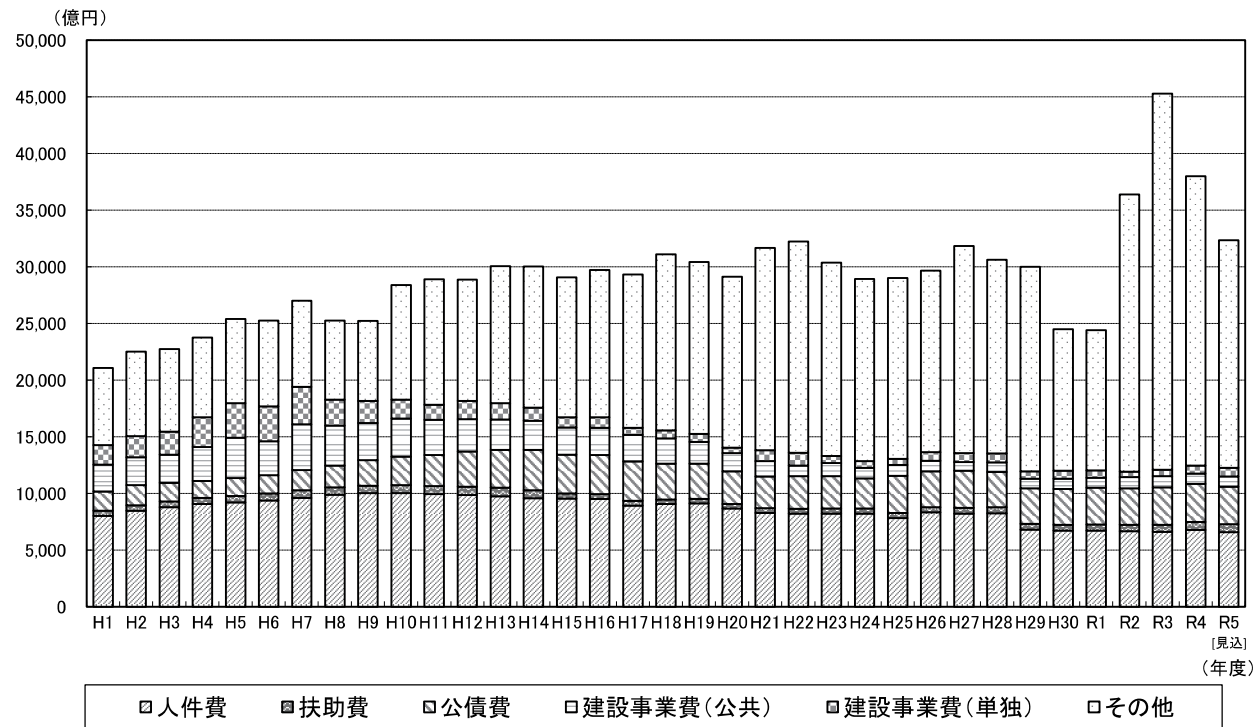
（単位：億円）

区分 年度	歳入決算額		うち 府 税			うち地方交付税			うち国庫支出金			うち 府 債		
	決算額	対前年 度伸率	決算額	構成比	対前年 度伸率	決算額	構成比	対前年 度伸率	決算額	構成比	対前年 度伸率	決算額	構成比	対前年 度伸率
H1	21,248	11.4	14,075	66.2	9.4	0	0.0	0.0	2,780	13.1	4.8	987	4.6	6.8
H5	25,604	7.0	11,369	44.4	△10.9	272	1.1	皆増	4,089	16.0	15.0	4,405	17.2	53.7
H10	28,405	12.2	11,870	41.8	0.5	1,006	3.5	74.0	4,470	15.7	7.2	3,523	12.4	△8.0
H15	29,010	△2.9	10,752	37.1	△0.7	3,068	10.6	△9.5	3,507	12.1	△7.4	3,343	11.5	6.2
H20	29,291	△4.2	13,567	46.3	△4.9	1,798	6.1	0.5	2,486	8.5	5.7	2,736	9.3	10.5
H21	32,060	9.5	10,946	34.1	△19.3	2,912	9.1	62.0	3,891	12.1	56.6	3,618	11.3	32.2
H22	39,168 (32,580)	22.2 (1.6)	10,657 (32.7)	27.2 (32.7)	△2.6	2,995	7.6 (9.2)	2.9	2,869	7.3 (8.8)	△26.3	4,044 (12.4)	10.3 (12.4)	11.8
H23	30,560	△22.0	10,427	34.1	△2.2	2,973	9.7	△0.7	2,484	8.1	△13.4	3,881	12.7	△4.0
H24	29,132	△4.7	10,696	36.7	2.6	2,844	9.8	△4.3	2,418	8.3	△2.7	3,925	13.5	1.1
H25	29,366	0.8	11,171	38.0	4.4	2,844	9.7	0.0	2,545	8.7	5.3	3,781	12.9	△3.7
H26	29,815	1.5	12,021	40.3	7.6	2,764	9.3	△2.8	2,334	7.8	△8.3	3,379	11.3	△10.6
H27	31,955	7.2	14,276	44.7	18.8	2,826	8.8	2.2	2,323	7.3	△0.5	2,757	8.6	△18.4
H28	30,701	△3.9	14,159	46.1	△0.8	2,764	9.0	△2.2	2,371	7.7	2.1	2,939	9.6	6.6
H29	30,119	△1.9	14,999	49.8	5.9	2,448	8.1	△11.4	2,049	6.8	△13.6	2,404	8.0	△18.2
H30	24,631	△18.2	12,778	51.9	△14.8	2,360	9.6	△3.6	1,850	7.5	△9.7	2,413	9.8	0.4
R1	24,811	0.7	13,039	52.6	2.0	2,478	10.0	5.0	1,923	7.8	3.9	2,314	9.3	△4.1
R2	36,835	48.5	12,813	34.8	△1.7	2,594	7.0	4.7	6,982	19.0	263.1	3,087	8.4	33.4
R3	45,701	24.1	13,960	30.5	9.0	3,804	8.3	46.6	13,607	29.8	94.9	3,682	8.1	19.3
R4	38,357	△16.1	14,521	37.9	4.0	3,121	8.1	△18.0	8,471	22.1	△37.7	1,132	3.0	△69.3
R5 (見込)	32,593	△15.0	14,812	45.4	2.0	3,400	10.4	8.9	3,314	10.2	△60.9	1,331	4.1	17.6

(注1) () 内は、基金からの借入れの見直しに伴う特例償還(6,588億円)を除く実質的な決算規模や構成比を示す。

(注2) 府債のピークはH7の5,539億円。

(3) 歳出決算額（性質別）（一般会計）



(3) 歳出決算額（性質別）（一般会計）①

(単位：億円)

区分 年度	歳出決算額		うち義務的経費			う ち 人 件 費			う ち 扶 助 費			う ち 公 債 費		
	決算額	対前年 度伸率	決算額	構成比	対前年 度伸率	決算額	構成比	対前年 度伸率	決算額	構成比	対前年 度伸率	決算額	構成比	対前年 度伸率
H1	21,095	11.7%	10,172	48.2%	3.4%	8,023	38.0%	4.4%	452	2.1%	6.6%	1,696	8.0%	△2.0%
H5	25,401	7.0	11,359	44.7	2.4	9,204	36.2	1.5	573	2.3	5.7	1,582	6.2	6.6
H10	28,384	12.5	13,255	46.7	2.4	10,040	35.4	0.2	702	2.5	3.7	2,514	8.8	11.7
H15	29,068	△3.1	13,416	46.2	△3.0	9,558	32.9	△0.3	418	1.4	△39.0	3,440	11.8	△3.3
H20	29,114	△4.3	11,949	41.0	△5.3	8,669	29.8	△5.2	388	1.3	5.4	2,893	9.9	△7.0
H21	31,654	8.7	11,489	36.3	△3.8	8,286	26.2	△4.4	414	1.3	6.8	2,790	8.8	△3.6
H22	38,847 (32,218)	22.7 (1.8)	11,512	29.6 (35.7)	0.2	8,210	21.1 (25.5)	△0.9	429	1.1 (1.3)	3.6	2,873	7.4 (8.9)	3.0
H23	30,377	△21.8 (△5.7)	11,527	37.9	0.1	8,237	27.1	0.3	451	1.5	5.1	2,839	9.3	△1.2
H24	28,931	△4.8	11,329	39.2	△1.7	8,221	28.4	△0.2	451	1.6	0.0	2,657	9.2	△6.4
H25	29,014	0.3	11,546	39.8	1.9	7,820	27.0	△4.9	465	1.6	3.1	3,261	11.2	22.7
H26	29,684	2.3	11,962	40.3	3.6	8,340	28.1	6.6	440	1.5	△5.4	3,182	10.7	△2.4
H27	31,831	7.2	11,988	37.7	0.2	8,235	25.9	△1.3	487	1.5	10.7	3,266	10.3	2.6
H28	30,608	△3.8	11,907	38.9	△0.7	8,240	26.9	0.1	526	1.7	8.1	3,141	10.3	△3.8
H29	30,001	△2.0	10,448	34.8	△12.3	6,793	22.6	△17.6	527	1.8	0.2	3,128	10.4	△0.4
H30	24,477	△18.4	10,390	42.4	△0.6	6,726	27.5	△1.0	505	2.1	△4.1	3,159	12.9	1.0
R1	24,396	△0.3	10,512	43.1	1.2	6,736	27.6	0.1	516	2.1	2.2	3,260	13.4	3.2
R2	36,378	49.1	10,453	28.7	△0.6	6,671	18.3	△1.0	545	1.5	5.6	3,237	8.9	△0.7
R3	45,303	24.5	10,531	23.2	0.7	6,600	14.6	△1.1	610	1.3	11.9	3,320	7.3	2.6
R4	37,995	△16.1	10,857	28.6	3.1	6,764	17.8	2.5	718	1.9	17.7	3,376	8.9	1.7
R5 (見込)	32,338	△14.9	10,591	32.8	△2.5	6,591	20.4	△2.6	684	2.1	△4.7	3,316	10.3	△1.8

(注1) () 内は、基金からの借入れの見直しに伴う基金償還金(6,629億円)を除く実質的な決算規模や構成比を示す。

(注2) 本表の公債費には、減債基金復元にかかる積立金は含んでいない。

(注3) 義務的経費、扶助費のピークはH13で、それぞれ13,833億円、781億円、公債費のピークはH14で、3,559億円。

(3) 歳出決算額（性質別）（一般会計）②

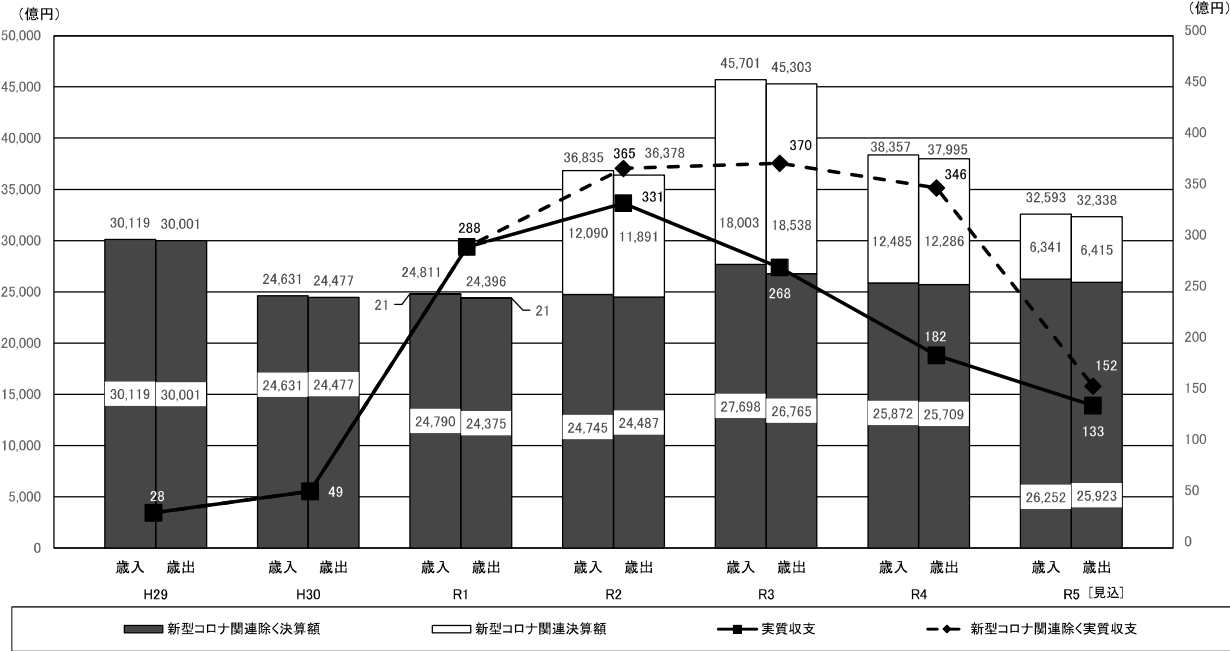
（単位：億円）

区分 年度	歳出決算額		うち普通建設事業費			うち公共			うち単独		
	決算額	対前年 度伸率	決算額	構成比	対前年 度伸率	決算額	構成比	対前年 度伸率	決算額	構成比	対前年 度伸率
		%		%	%		%	%		%	%
H1	21,095	11.7	4,074	19.3	18.7	2,372	11.2	13.3	1,702	8.1	27.0
H5	25,401	7.0	6,626	26.1	17.7	3,570	14.1	19.4	3,057	12.0	15.8
H10	28,384	12.5	5,017	17.7	△3.6	3,350	11.8	2.4	1,666	5.9	△13.9
H15	29,068	△3.1	3,303	11.4	△11.4	2,403	8.3	△7.5	900	3.1	△20.2
H20	29,114	△4.3	2,082	7.2	△21.3	1,592	5.5	△17.5	490	1.7	△31.5
H21	31,654	8.7	2,303	7.3	10.6	1,349	4.3	△15.2	954	3.0	94.6
H22	38,847 (32,218)	22.7 (1.8)	2,064	5.3 (6.4)	△10.4	929	2.4 (2.9)	△31.1	1,135	2.9 (3.5)	19.0
H23	30,377	△21.8 (△5.7)	1,773	5.8	△14.1	1,158	3.8	24.7	615	2.0	△45.8
H24	28,931	△4.8	1,520	5.3	△14.3	930	3.2	△19.7	590	2.0	△4.1
H25	29,014	0.3	1,492	5.1	△1.8	962	3.3	3.4	530	1.8	△10.2
H26	29,684	2.3	1,683	5.7	12.8	916	3.1	△4.8	767	2.6	44.7
H27	31,831	7.2	1,561	4.9	△7.2	776	2.4	△15.3	785	2.5	2.3
H28	30,608	△3.8	1,617	5.3	3.6	851	2.8	9.7	766	2.5	△2.4
H29	30,001	△2.0	1,513	5.0	△6.4	855	2.8	0.4	658	2.2	△14.0
H30	24,477	△18.4	1,592	6.5	5.2	902	3.7	5.5	690	2.8	4.9
R1	24,396	△0.3	1,519	6.2	△4.6	886	3.6	△1.8	634	2.6	△8.1
R2	36,378	49.1	1,469	4.0	△3.3	971	2.7	9.6	497	1.4	△21.6
R3	45,303	24.5	1,567	3.5	6.7	996	2.2	2.6	571	1.3	14.9
R4	37,995	△16.1	1,604	4.2	2.4	883	2.3	△11.3	721	1.9	26.3
R5 (見込)	32,338	△14.9	1,675	5.2	4.4	904	2.8	2.4	772	2.4	7.1

(注1) () 内は、基金からの借入れの見直しに伴う基金償還金(6,629億円)を除く実質的な決算規模や構成比を示す。

(注2) 普通建設事業費、公共、単独のピークはH7で、それぞれ7,328億円、4,029億円、3,300億円。

(参考)新型コロナウイルス感染症関連事業費を除外した場合の一般会計決算額の推移



(注) 新型コロナ関連除く実質収支は、事業実施年度と当該事業に係る国庫支出金の収入年度が異なる場合があるため、年度間の影響額を除外したものである。

【新型コロナウイルス感染症関連事業費】			
(R1) 歳出総額	21億円	(主なもの)	生活福祉資金貸付事業費 21億円
(R2) 歳出総額	11,891億円	(主なもの)	制度融資預託金 6,926億円 生活福祉資金貸付事業費 1,415億円 入院病床確保 834億円
(R3) 歳出総額	18,344億円	(主なもの)	営業時間短縮協力金 7,421億円 制度融資預託金 6,058億円 入院病床確保 1,969億円 生活福祉資金貸付事業費 969億円
(R4) 歳出総額	12,171億円	(主なもの)	制度融資預託金 5,879億円 入院病床確保 2,074億円 営業時間短縮協力金 1,171億円
(R5) 歳出総額	6,289億円	(主なもの)	制度融資預託金 4,831億円 入院病床確保 367億円

(参考)新型コロナウイルス感染症関連事業費を除外した場合の一般会計決算額の推移

除外した場合の一般会計歳入決算額

区分		歳入決算額				うち府税				うち地方交付税				うち国庫支出金				うち府債			
		決算額	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率
H29		30,119	△1.9	14,999	49.8	5.9	2,448	8.1	△11.4	2,049	6.8	△13.6	2,404	8.0	△18.2						
H30		24,631	△18.2	12,778	51.9	△14.8	2,360	9.6	△3.6	1,850	7.5	△9.7	2,413	9.8	0.4						
R1		24,790	0.6	13,039	52.6	2.0	2,478	10.0	5.0	1,902	7.7	2.8	2,314	9.3	△4.1						
R2		24,745	△0.2	12,813	51.8	△1.7	2,594	10.5	4.7	2,100	8.5	10.4	3,087	12.5	33.4						
R3		27,698	11.9	13,960	50.1	9.0	3,804	13.7	46.6	2,084	7.5	△0.8	3,682	13.3	19.3						
R4		25,872	△6.6	14,521	56.1	4.0	3,121	12.1	△18.0	2,284	8.8	9.6	1,132	4.4	△69.3						
R5	(注1)	26,252	1.5	14,812	56.4	2.0	3,409	13.0	8.9	2,138	8.1	△6.4	1,331	5.1	17.6						
		(32,593)	(△15.0)	(45.4)				(10.4)		(3,314)	(10.2)	(△60.9)		(4.1)							

除外した場合の一般会計歳出決算額(性質別)

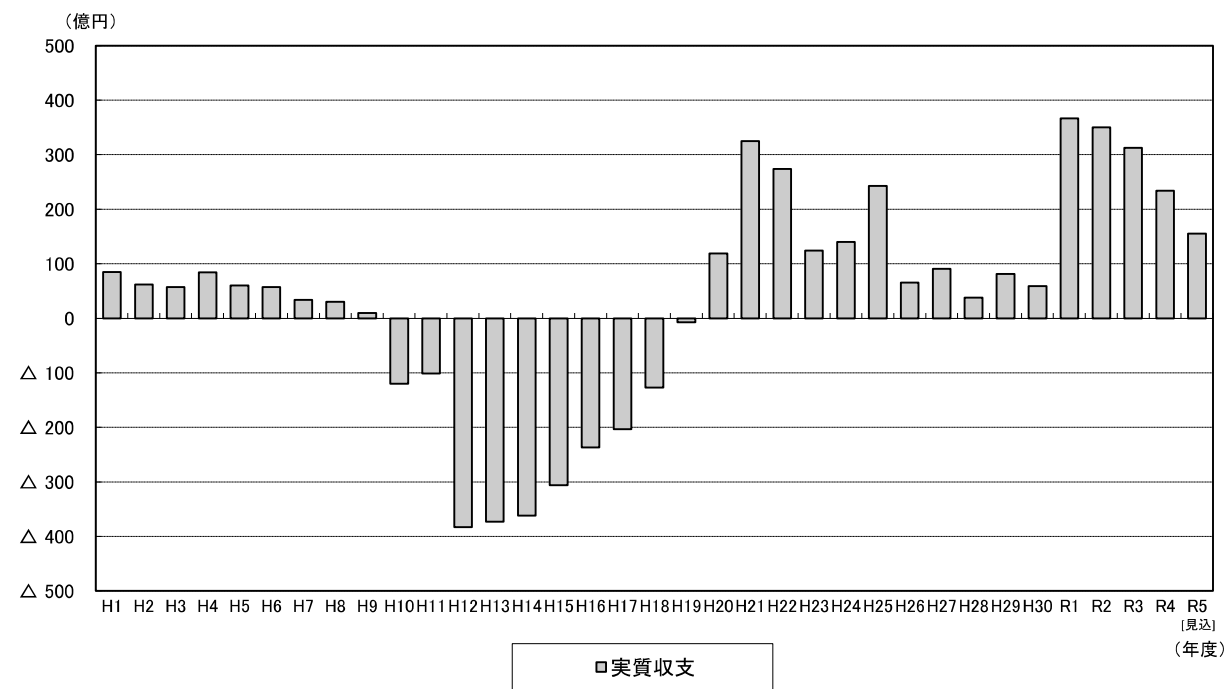
区分		歳出決算額				うち義務的経費				うち人件費				うち補助費				うち公債費			
		決算額	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率
H29		30,001	△2.0	10,448	34.8	△12.3	6,793	22.6	△17.6	527	1.8	0.2	3,128	10.4	△0.4						
H30		24,477	△18.4	10,390	42.4	△0.6	6,728	27.5	△1.0	505	2.1	△4.1	3,159	12.9	1.0						
R1		24,375	△0.4	10,512	43.1	1.2	6,736	27.6	0.1	516	2.1	2.2	3,260	13.4	3.2						
R2		24,487	0.5	10,427	42.6	△0.8	6,663	27.2	△1.1	527	2.2	2.2	3,237	13.2	△0.7						
R3		26,768	9.3	10,485	39.1	0.3	6,585	24.6	△1.2	549	2.1	4.2	3,320	12.4	2.6						
R4		25,709	△3.9	10,090	41.6	2.3	6,757	26.3	2.6	563	2.2	2.5	3,376	13.1	1.7						
R5	(注1)	25,923	0.8	10,501	40.5	△1.8	6,591	25.4	△2.5	594	2.3	5.6	3,316	12.8	△1.8						
		(32,338)	(△14.9)	(10,591)	(32.8)	(△2.5)	(6,591)	(20.4)		(684)	(2.1)	(△4.7)		(16.3)							

区分		歳出決算額				うち普通建設事業費				うち公共				うち福祉			
		決算額	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比
H29		30,001	△2.0	1,513	5.0	△6.4	855	2.8	0.4	658	2.2	△14.0					
H30		24,477	△18.4	1,592	6.5	5.2	902	3.7	5.5	690	2.8	4.9					
R1		24,375	△0.4	1,519	6.2	△4.6	886	3.6	△1.8	634	2.6	△8.1					
R2		24,487	0.5	1,465	6.0	△3.6	968	4.0	9.3	497	2.0	△21.6					
R3		26,768	9.3	1,556	5.8	6.2	985	3.7	1.7	571	2.1	15.0					
R4		25,709	△3.9	1,589	6.2	2.1	868	3.4	△11.9	721	2.8	26.3					
R5	(注1)	25,923	0.8	1,666	6.4	4.8	894	3.4	3.0	772	3.0	7.1					
		(32,338)	(△14.9)	(1,675)	(5.2)	(4.4)	(904)	(2.8)		(2.4)							

(注1) (一)内は、新型コロナウイルス感染症関連事業費を含む決算額、構成比及び対前年度増減率を示す。
(注2) 本表の公債費額は、本年度の一般会計決算額から、新型コロナウイルス感染症関連事業費に係る歳入決算額並びに新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金等の当年度支入超過額、過年度支出の支入額及び過年度支入超過額の返還金を除外したものである。
(注3) 本表の公債費には、減価基金増元にかかる増立金は含まれていない。

3. 決算額の推移（普通会計）

（１） 実質収支（普通会計）



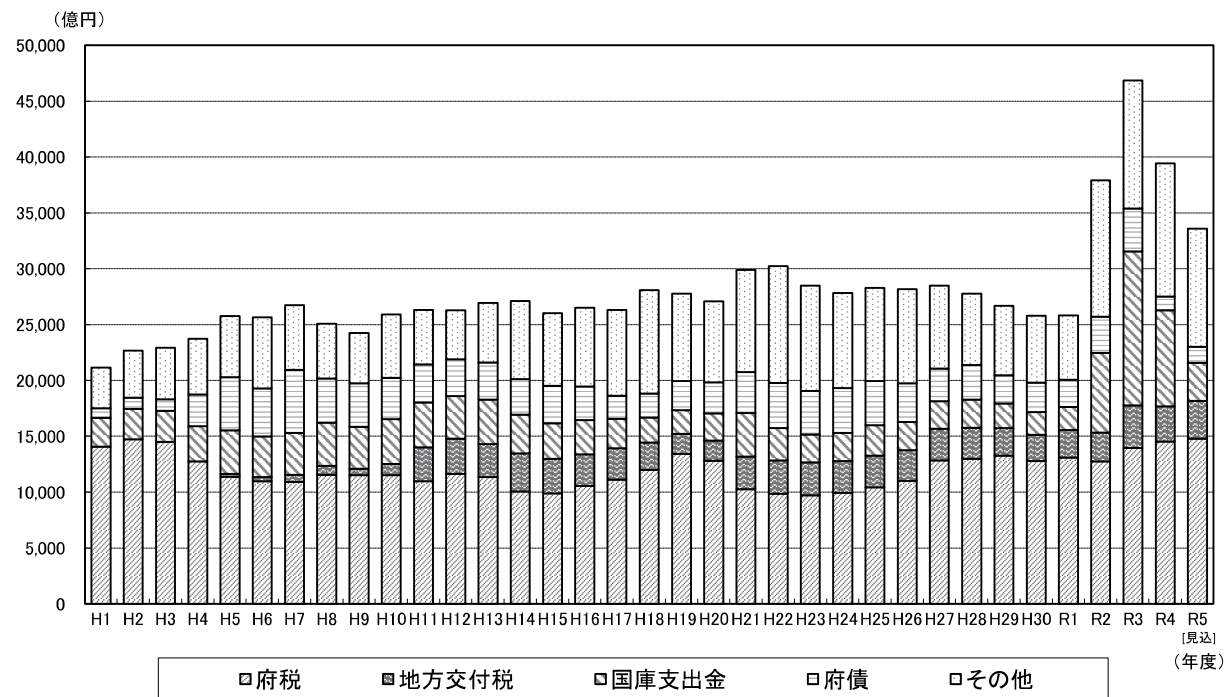
(1) 実質収支（普通会計）

(単位：億円)

区分 年度	実質収支	歳入決算額		歳出決算額		全国都道府県	
		決算額	対前年 度伸率	決算額 (A)	対前年 度伸率	歳出総額(B)	(A)/(B)
			%		%		%
H1	85	21,149	11.8	20,977	12.2	397,758	5.3
H5	60	25,770	8.6	25,573	8.7	508,806	5.0
H10	△ 120	25,907	6.8	25,881	7.3	546,271	4.7
H15	△ 306	26,016	△ 4.0	26,031	△ 4.3	489,170	5.3
H20	119	27,085	△ 2.5	26,856	△ 2.8	473,490	5.7
H21	325	29,901	10.4	29,428	9.6	502,453	5.9
H22	274	36,819 (30,231)	23.1 (1.1)	36,418 (29,789)	23.8 (1.2)	490,595	7.4 (6.1)
H23	124	28,472	△ 22.7 (△5.8)	28,203	△ 22.6 (△5.3)	509,658	5.5
H24	140	27,822	△ 2.3	27,515	△ 2.4	494,818	5.6
H25	243	28,275	1.6	27,805	1.1	500,532	5.6
H26	66	28,166	△ 0.4	27,945	0.5	502,154	5.6
H27	91	28,468	1.1	28,236	1.0	507,312	5.6
H28	38	27,770	△ 2.5	27,582	△ 2.3	502,103	5.5
H29	81	26,700	△ 3.9	26,476	△ 4.0	494,485	5.4
H30	59	25,800	△ 3.4	25,548	△ 3.5	489,573	5.2
R1	367	25,822	0.1	25,263	△ 1.1	493,390	5.1
R2	350	37,894	46.8	37,335	47.8	597,063	6.3
R3	313	46,869	23.7	46,348	24.1	663,242	7.0
R4	234	39,426	△ 15.9	38,953	△ 16.0	617,395	6.3
R5	(見込) 155	(見込) 33,584	△ 14.8	(見込) 33,256	△ 14.6	—	—

(注1) () 内は、基金からの借入れの見直しに伴う特例償還(歳入：6,588億円、歳出：6,629億円)を除く実質的な決算規模や増加率を示す。
(注2) 実質収支とは、歳入歳出差引額(形式収支)から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した決算額である。

(2) 歳入決算額（普通会計）



(2) 歳入決算額（普通会計）

（単位：億円）

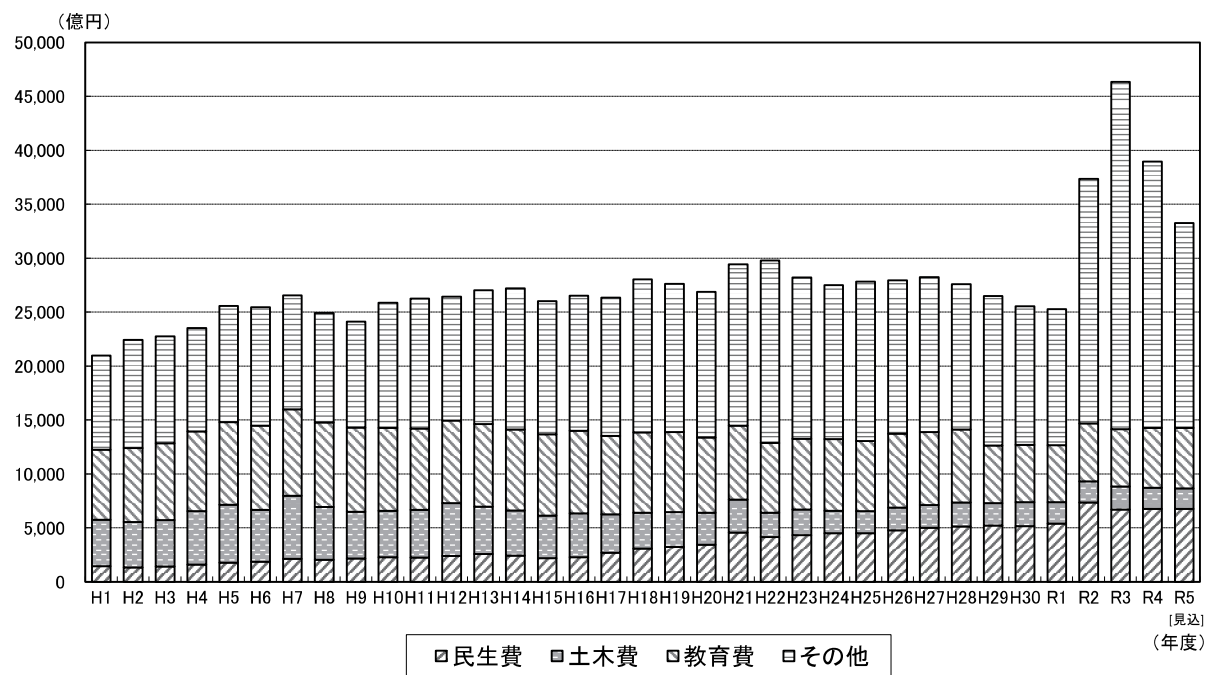
区分 年度	歳入 決算額	うち府税			うち地方交付税			うち国庫支出金			うち府債		
		決算額	構成比		決算額	構成比		決算額	構成比		決算額	構成比	
			(府)	(全国)		(府)	(全国)		(府)	(全国)		(府)	(全国)
			%	%		%	%		%	%		%	%
H1	21,149	14,075	66.6	40.9	0	0.0	18.2	2,575	12.2	17.4	859	4.1	7.3
H5	25,770	11,369	44.1	30.2	272	1.1	16.1	3,900	15.1	20.9	4,743	18.4	14.0
H10	25,907	11,523	44.5	31.1	1,006	3.9	16.7	4,004	15.5	18.2	3,708	14.3	15.6
H15	26,016	9,909	38.1	31.0	3,068	11.8	20.0	3,189	12.3	15.7	3,361	12.9	15.4
H20	27,085	12,813	47.3	41.7	1,798	6.6	16.9	2,433	9.0	12.0	2,788	10.3	12.4
H21	29,901	10,270	34.3	32.4	2,912	9.7	16.1	3,895	13.0	16.7	3,668	12.3	15.2
H22	36,819 (30,231)	9,860	26.8 (32.6)	31.8	2,995	8.1 (9.9)	17.5	2,873	7.8 (9.5)	12.5	4,051	11.0 (13.4)	15.6
H23	28,472	9,702	34.1	30.2	2,972	10.4	18.6	2,486	8.7	14.9	3,882	13.6	13.5
H24	27,822	9,936	35.7	31.6	2,844	10.2	18.3	2,526	9.1	12.9	4,017	14.4	14.1
H25	28,275	10,442	36.9	32.6	2,844	10.1	17.2	2,711	9.6	14.2	3,961	14.0	13.1
H26	28,166	11,003	39.1	34.4	2,764	9.8	17.2	2,495	8.9	12.4	3,490	12.4	11.9
H27	28,468	12,840	45.1	38.7	2,826	9.9	17.0	2,491	8.7	12.0	2,892	10.2	10.6
H28	27,770	12,992	46.8	39.2	2,764	9.9	17.5	2,542	9.1	12.5	3,098	11.2	10.7
H29	26,700	13,289	49.8	40.4	2,448	9.2	17.0	2,208	8.3	11.9	2,527	9.4	10.8
H30	25,800	12,778	49.5	40.9	2,360	9.1	17.0	2,030	7.9	11.3	2,616	10.1	10.7
R1	25,822	13,104	50.7	40.7	2,478	9.6	17.0	2,057	8.0	11.6	2,418	9.4	11.0
R2	37,894	12,748	33.6	33.2	2,594	6.9	14.3	7,127	18.8	20.0	3,221	8.5	10.8
R3	46,869	13,960	29.8	32.5	3,804	8.1	14.9	13,785	29.4	23.7	3,848	8.2	9.6
R4	39,426	14,552	36.9	36.3	3,121	7.9	15.0	8,603	21.8	19.9	1,229	3.1	7.2
R5	(見込) 33,584	14,781	44.0	—	3,400	10.1	—	3,415	10.2	—	1,414	4.2	—

(注1) 構成比（全国）は、全国都道府県の歳入総額に占める全国都道府県の地方税、地方交付税、国庫支出金、地方債の割合である。

(注2) () 内は、基金からの借入れの見直しに伴う特例償還(6,588億円)を除く実質的な決算規模や構成比を示す。

(注3) 府債のピークはH7の5,634億円。

(3) 歳出決算額（目的別）（普通会計）



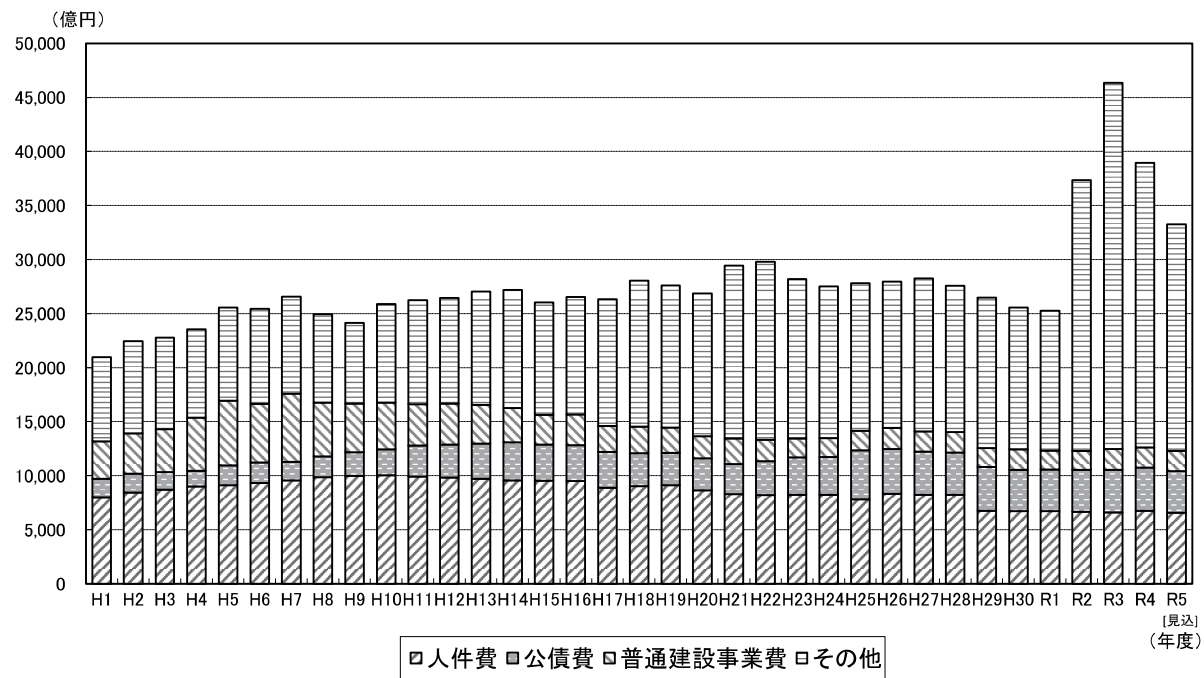
(3) 歳出決算額（目的別）（普通会計）

（単位：億円）

区分 年度	歳 出 決算額	う ち 民 生 費			う ち 土 木 費			う ち 教 育 費		
		決算額	構 成 比		決算額	構 成 比		決算額	構 成 比	
			(府)	(全国)		(府)	(全国)		(府)	(全国)
			%	%		%	%		%	%
H1	20,977	1,435	6.8	6.0	4,316	20.6	21.5	6,498	31.0	25.0
H5	25,573	1,784	7.0	5.8	5,365	21.0	22.7	7,656	29.9	23.2
H10	25,881	2,288	8.8	7.0	4,297	16.6	21.3	7,670	29.6	22.8
H15	26,031	2,200	8.5	8.1	3,932	15.1	16.9	7,552	29.0	23.8
H20	26,856	3,448	12.8	11.6	2,973	11.1	13.2	6,965	25.9	23.4
H21	29,428	4,572	15.5	13.5	3,046	10.4	13.2	6,865	23.3	21.7
H22	36,418 (29,789)	4,154	11.4 (13.9)	13.1	2,265	6.2 (7.6)	11.7	6,477 (21.7)	17.8 (21.7)	22.2
H23	28,203	4,319	15.3	14.7	2,376	8.4	10.6	6,567	23.3	21.5
H24	27,515	4,515	16.4	14.8	2,065	7.5	10.7	6,652	24.2	22.0
H25	27,805	4,492	16.2	13.1	2,079	7.5	11.7	6,486	23.3	22.2
H26	27,945	4,765	17.1	15.1	2,126	7.6	11.0	6,861	24.5	21.7
H27	28,236	5,006	17.7	15.9	2,115	7.5	10.3	6,756	23.9	21.7
H28	27,582	5,136	18.6	17.0	2,204	8.0	11.1	6,782	24.6	22.1
H29	26,476	5,223	19.7	16.3	2,090	7.9	11.1	5,311	20.1	20.2
H30	25,548	5,153	20.2	15.9	2,226	8.7	11.3	5,317	20.8	20.4
R1	25,263	5,411	21.4	16.6	1,981	7.8	12.0	5,290	20.9	20.6
R2	37,335	7,341	19.6	16.3	1,987	5.3	10.5	5,340	14.3	17.1
R3	46,348	6,709	14.5	14.1	2,108	4.5	9.5	5,322	11.5	15.5
R4	38,953	6,781	17.4	15.0	1,940	5.0	9.9	5,538	14.2	16.3
R5 (見込)										
	33,256	6,756	20.3	—	1,923	5.8	—	5,596	16.8	—

(注1) 構成比（全国）は、全国都道府県の歳出総額に占める全国都道府県の民生費、土木費、教育費の割合である。
(注2) () 内は、基金からの借入れの見直しに係る基金償還金(6,629億円)を除く実質的な決算規模や構成比を示す。
(注3) 土木費、教育費のピークはH7で、それぞれ5,814億円、8,043億円。

(4) 歳出決算額（性質別）（普通会計）



(4) 歳出決算額（性質別）（普通会計）

（単位：億円）

区分 年度	歳 出 決算額	う ち 人 件 費				う ち 公 債 費			うち普通建設事業費		
		決算額	うち退職手当	構成比		決算額	構成比		決算額	構成比	
				(府)	(全国)		(府)	(全国)		(府)	(全国)
H1	20,977	7,995	501	38.1	32.1	1,697	8.1	7.7	3,483	16.6	27.5
H5	25,573	9,116	419	35.6	28.8	1,827	7.1	9.8	6,001	23.5	32.2
H10	25,881	10,016	570	38.7	29.2	2,434	9.4	9.3	4,307	16.6	30.1
H15	26,031	9,540	1,021	36.6	31.4	3,354	12.9	13.6	2,747	10.6	21.3
H20	26,856	8,656	1,036	32.2	31.1	2,934	10.9	14.2	2,051	7.7	14.9
H21	29,428	8,286	1,006	28.2	28.4	2,804	9.5	13.1	2,346	8.0	15.3
H22	36,418 (29,789)	8,210	988	22.5 (27.6)	28.8	3,146	8.6 (10.6)	13.8	1,966	5.4 (6.6)	14.0
H23	28,203	8,237	960	29.2	27.6	3,449	12.2	13.4	1,773	6.3	13.4
H24	27,515	8,233	1,105	29.9	28.1	3,493	12.7	14.1	1,749	6.4	13.2
H25	27,805	7,831	795	28.1	26.7	4,524	16.3	14.2	1,808	6.5	14.4
H26	27,945	8,313	804	29.8	27.2	4,159	14.9	14.9	1,946	7.0	14.3
H27	28,236	8,229	755	29.1	27.0	4,005	14.2	14.2	1,859	6.6	13.4
H28	27,582	8,229	726	29.8	27.3	3,906	14.2	13.7	1,913	6.9	14.2
H29	26,476	6,767	508	25.6	25.5	4,048	15.3	14.3	1,743	6.6	14.4
H30	25,548	6,719	504	26.3	25.7	3,823	14.9	13.9	1,902	7.4	15.9
R1	25,263	6,728	467	26.6	25.4	3,838	15.2	13.4	1,742	6.9	16.1
R2	37,335	6,662	440	17.9	20.9	3,879	10.4	11.0	1,745	4.7	13.7
R3	46,348	6,591	415	14.2	18.7	3,956	8.5	10.6	1,915	4.2	12.3
R4	38,953	6,753	409	17.3	20.1	3,994	10.3	11.0	1,855	4.8	12.6
R5	(見込)										
	33,256	6,582	179	19.8	—	3,839	11.5	—	1,878	5.7	—

(注1) 構成比（全国）は、全国都道府県の歳出総額に占める全国都道府県の人件費、公債費、普通建設事業費の割合である。

(注2) () 内は、基金からの借入れの見直しに伴う基金償還金(6,629億円)を除く実質的な決算規模や構成比を示す。

(注3) 普通建設事業費のピークはH7の6,308億円。

4. 財政健全化法に基づく健全化判断比率等の状況

- ◆ 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行に伴い、平成 19 年度決算から健全化判断比率等を算定。
- ◆ 一定の基準以上となった場合には、財政健全化計画の策定等が必要。
 - ・ 早期健全化基準：自主的な改善努力による財政健全化が必要な水準
 - 財政健全化計画の策定・外部監査の義務付け、総務大臣による必要な勧告等
 - ・ 財政再生基準：国の関与による確実な再生が必要な水準
 - 財政再生計画の策定・外部監査の義務付け、起債の制限、総務大臣による予算変更の勧告等
 - ・ （公営企業に関して）経営健全化基準：自主的な改善努力による経営健全化が必要な水準
 - 経営健全化計画の策定・外部監査の義務付け、総務大臣による必要な勧告等
- ◆ 暫定値は、監査委員の審査に付した後、その意見を付して府議会 9 月定例会に報告するとともに、確定値として公表。
（数値等は監査委員の審査を経て、変動することがある。）

区分		決算年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H1	H2	H3	H4	R5 (暫定値)	早期健全化 基準	財政再生 基準
			%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
実質赤字比率			0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.75	5
連結実質赤字比率			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.75	15
実質公債費比率			16.6	16.6	17.2	17.6	18.4	18.1	19.0	19.0	19.4	18.4	17.9	16.8	15.3	13.7	12.2	11.5	10.7	25	35
将来負担比率			290.0	288.6	289.2	266.8	254.7	251.2	227.5	208.4	189.0	183.4	183.1	173.8	164.3	153.4	130.9	123.3	118.4	400	—
資金不足比率	法適用	大阪府中央卸売市場事業会計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(経営健全化基準) 20	
		大阪府流域下水道事業会計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		大阪府まちづくり促進事業会計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		大阪府地域整備事業会計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		大阪府水道事業会計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		大阪府工業用水道事業会計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		港湾整備事業特別会計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		筑前北部丘陵整備事業特別会計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		流域下水道事業特別会計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

(注1) 「法適用」とは、地方公営企業法を適用している公営企業会計である。
(注2) 大阪府流域下水道事業会計はH30から法適用。

①実質赤字比率 【趣旨】 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
【基準】 早期健全化基準 3.75% 財政再生基準 5%

(単位：億円)						
会計名		歳 入	歳 出	形式収支	翌年度に繰り 越すべき財源	実質収支
一 般 会 計		32,593	32,338	255	122	133
一般会計等に属する特別会計	日本万国博覧会記念公園事業特別会計	34	29	4	1	4
	就農支援資金等特別会計	0	0	0	0	0
	大阪府営住宅事業特別会計	1,224	1,186	37	26	11
	関西国際空港関連事業特別会計	131	131	0	0	0
	不動産調達特別会計	11	10	1	0	1
	市町村施設整備資金特別会計	38	38	1	0	1
	公債管理特別会計	9,356	9,350	6	0	6
	地方消費税清算特別会計	10,389	10,389	0	0	0
	母子父子寡婦福祉資金特別会計	14	6	8	8	0
	中小企業振興資金特別会計	42	27	15	15	0
	沿岸漁業改善資金特別会計	2	0	2	2	0
林業改善資金特別会計	1	0	1	1	0	
合 計 (分子)		53,834	53,506	329	173	155
標準財政規模 (分母) (臨時財政対策債発行可能額含む)		17,071				
実 質 赤 字 比 率 (%)		該 当 な し				
(参考)						
普 通 会 計		33,584	33,256	329	173	155

（注） 普通会計決算は、「地方財政状況調査」における統一ルールに基づき作成されているため、各会計を単純に合算したものとはならない。

（参考） 大阪府における早期健全化・財政再生基準の該当ライン
＜早期健全化＞ △640億円 ＜財政再生＞ △854億円 （令和5年度決算見込ベース）

②連結実質赤字比率 【趣旨】 全会計を対象とした実質赤字（又は資金の不足額）の標準財政規模に対する比率
 【基準】 早期健全化基準 8.75% 財政再生基準 15%
 （単位：億円）

会計名				実質収支額・資金収支額
一般会計等				155
公営事業会計	国民健康保険特別会計			144
	法適用	大阪府中央卸売市場事業会計		26
		大阪府流域下水道事業会計		40
		大阪府まちづくり促進事業会計		25
	法非適用	港湾整備事業特別会計		62
		箕面北部丘陵整備事業特別会計		0
合 計 （分子）				453
標準財政規模 （分母） （臨時財政対策債発行可能額含む）				17,071
連結実質赤字比率（%）				該当なし

（参考） 大阪府における早期健全化・財政再生基準の該当ライン
 ＜早期健全化＞ △1,494億円 ＜財政再生＞ △2,561億円 （令和5年度決算見込ベース）

③実質公債費比率

【趣旨】一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

【基準】早期健全化基準 25% 財政再生基準 35%

(単位：億円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ア 地方債の元利償還金	1,273	1,221	1,109
イ 準元利償還金	2,688	2,809	2,829
ウ 特定財源 (元利償還金・準元利償還金に充てられるもの)	300	301	296
エ 元利償還金・準元利償還金に係る 基準財政需要額算入額	2,118	2,088	2,098
合 計 (分子) (ア＋イ)－(ウ＋エ)	1,544	1,641	1,545
オ 標準財政規模 (臨時財政対策債発行可能額含む)	16,809	16,614	17,071
合 計 (分母) オーエ	14,691	14,527	14,973
実質公債費比率 (%) (単年度)	10.5	11.2	10.3
実質公債費比率 (%) (3か年の平均)	10.7		

④将来負担比率

【趣旨】一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

【基準】早期健全化基準 ４００％ 財政再生基準 なし

(単位：億円)

項 目	算定値
ア 一般会計等に係る地方債の現在高	56,689
イ 債務負担行為に基づく支出予定額	352
ウ 一般会計等以外の会計に係る地方債の元金償還に充てるための繰出見込額	1,211
エ 組合等の地方債の元金償還に充てるための負担等見込額	0
オ 退職手当支給予定額のうち一般会計等負担見込額	3,771
カ 設立法人の負債の額等に係る一般会計等負担見込額	451
キ 地方債の償還等に充当可能な基金残高	13,685
ク 地方債の償還等に充当可能な特定の収入	2,968
ケ 地方債の償還等に要する経費として基準財政需要額に算入されることが見込まれる額	28,094
合計（分子） ア＋イ＋ウ＋エ＋オ＋カ－（キ＋ク＋ケ）	17,728
コ 標準財政規模の額 （臨時財政対策債発行可能額含む）	17,071
サ 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額	2,098
合計（分母） コーサ	14,973
将来負担比率（％）	118.4

⑤資金不足比率

【趣旨】 公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率

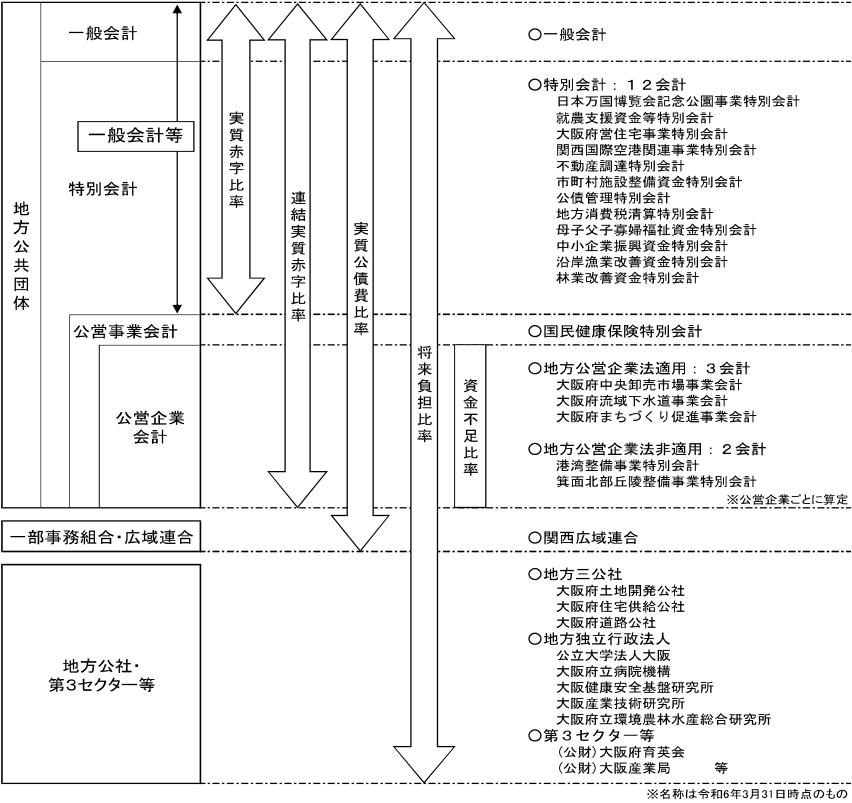
【基準】 経営健全化基準 20% 財政再生基準 なし

(単位：億円)

(参考)

会計名		総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	健全化法上の 資金剰余額	資金不足比率 (%)	企業債現在高
法 適 用	大阪府中央卸売市場事業会計	7	6	26	26	—	7
	大阪府流域下水道事業会計	646	647	40	40	—	1,593
	大阪府まちづくり促進事業会計	18	8	25	25	—	780
法 非 適 用	港湾整備事業特別会計	(歳入) 86	(歳出) 59	(実質収支) 24	62	—	101
	箕面北部丘陵整備事業特別会計	(歳入) 62	(歳出) 62	(実質収支) 0	0	—	12

(参考) 比率の算定対象



<参 考>

大阪府財政運営基本条例に定める財政評価指標（令和5年度決算見込）

区分 \ 決算年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(Ⅰ) 正味収支 (億円)	682	490	383	929	319	334	297	301	320	557	595	496	405	201
(Ⅱ) 本来収支 (億円)	682	490	383	929	319	304	147	286	320	557	595	496	405	201
(Ⅲ) 実質府債残高倍率	2.11	2.04	1.99	1.84	1.73	1.54	1.54	1.43	1.55	1.51	1.51	1.23	1.34	1.24
(Ⅳ) 収益の収支比率 (%)	83.0	88.2	89.7	84.6	86.6	88.6	88.5	87.2	83.9	82.5	86.5	84.7	87.2	84.7

(Ⅰ) 正味収支（条例第17条第2項第1号）

【算定式】正味収入〔歳入総額－本来当該年度以外の年度に属すべき歳入〕
－正味支出〔歳出総額－本来当該年度以外の年度に属すべき歳出〕
【算定結果】201億円

(Ⅱ) 本来収支（条例第17条第2項第2号）

【算定式】本来収入〔正味収入－補完的な収入〕－正味支出
【算定結果】201億円

(Ⅲ) 実質府債残高倍率（条例第17条第2項第3号）

【算定式】
$$\frac{\text{実質府債残高〔全会計府債残高－減収補填債－減税補填債－臨時税収補填債－猶予特例債－臨時財政対策債〕}}{\text{府税＋地方交付税＋特別法人事業譲与税＋臨時財政対策債}}$$

【算定結果】1.24

(Ⅳ) 収益の収支比率（条例第17条第2項第4号）

【算定式】
$$\frac{\text{収益の支出〔正味支出－資本的支出〕}}{\text{収益の収入〔本来収入－資本的収入〕}}$$

【算定結果】84.7%

5. 類似団体比較表①（令和5年度普通会計決算見込）

（単位：億円、％）

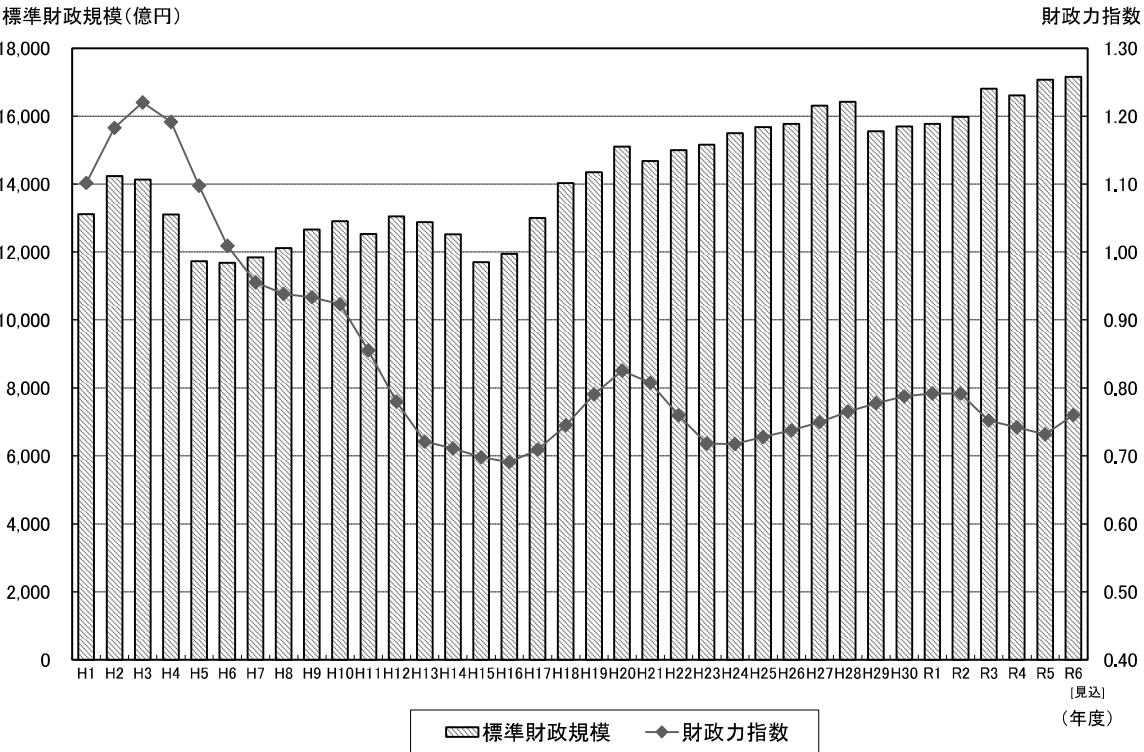
		大阪府		東京都		神奈川県		愛知県	
			構成比		構成比		構成比		構成比
歳入決算額		33,584		88,987		22,512		26,209	
	都道府県税	14,781	44.0	63,451	71.3	13,450	59.7	13,897	53.0
	（法人2税）	(5,088)	(15.2)	(16,990)	(19.1)	(3,494)	(15.5)	(4,314)	(16.5)
	地方交付税	3,400	10.1	—	—	1,538	6.8	1,251	4.8
	国庫支出金	3,415	10.2	6,616	7.4	2,017	9.0	2,811	10.7
	地方債	1,414	4.2	2,293	2.6	1,322	5.9	2,582	9.9
歳出決算額		33,256		83,533		22,074		25,478	
	人件費	6,582	19.8	15,375	23.0	4,900	25.6	5,799	25.4
	公債費	3,839	11.5	3,794	5.7	3,127	16.3	3,884	17.0
	普通建設事業費	1,878	5.7	7,883	11.8	1,697	8.9	3,272	14.4
実質収支		155		2,857		229		577	
標準財政規模		17,071		42,323		14,142		14,404	
財政力指数		0.73		1.10		0.84		0.86	
経常収支比率		97.4		81.3		96.0		99.8	
地方債現在高		47,131		37,095		30,734		45,657	
暫定値	実質赤字比率	—		—		—		—	
	連結実質赤字比率	—		—		—		—	
	実質公債費比率	10.7		1.3		8.9		13.2	
	将来負担比率	118.2		9.7		64.0		162.3	

５．類似団体比較表②（団体の概況）

		全国	大阪府	東京都	神奈川県	愛知県	備考	
人口（人）		126,146,099　－	8,837,685　(7.0%)	14,047,594　(11.1%)	9,237,337　(7.3%)	7,542,415　(6.0%)	R2 国勢調査	
うち政令市			大阪市　2,752,412　(2.2%) 堺市　826,161　(0.7%)		横浜市　3,777,491　(3.0%) 川崎市　1,538,262　(1.2%) 相模原市　725,493　(0.6%)	名古屋市　2,332,176　(1.8%)		
年少人口 （15歳未満）	14,955,692　《11.9%》	1,029,499　《11.6%》	1,566,840　《11.2%》	1,085,763　《11.8%》	973,642　《12.9%》			
生産年齢人口 （15歳以上65歳未満）	72,922,764　《57.8%》	5,199,504　《58.8%》	8,944,193　《63.7%》	5,628,918　《60.9%》	4,502,713　《59.7%》			
高齢者人口 （65歳以上）	35,335,805　《28.0%》	2,361,723　《26.7%》	3,107,822　《22.1%》	2,308,578　《25.0%》	1,864,603　《24.7%》			
就業者数	第1次産業	1,962,762　《3.5%》	17,807　《0.5%》	21,996　《0.4%》	31,897　《0.8%》	69,002　《2.0%》		
	第2次産業	13,259,479　《23.7%》	786,169　《22.6%》	873,231　《15.2%》	811,104　《20.2%》	1,135,848　《32.4%》		
	第3次産業	40,679,332　《72.8%》	2,678,446　《76.9%》	4,833,623　《84.4%》	3,175,503　《79.0%》	2,297,585　《65.6%》		
面積（k㎡） （R6.4.1現在）		377,974.71　－	1,905.34　(0.5%)	2,199.94　(0.6%)	2,416.55　(0.6%)	5,173.19　(1.4%)		国土地理院 都道府県別面積
人口集中地区(DID) 面積（k㎡）		13,250.40　《3.5%》	927.02　《48.7%》	1,091.78　《49.6%》	954.76　《39.5%》	965.17　《18.7%》		R2 国勢調査
耕地面積（1,000ha）		4,297.0　《11.4%》	12.0　《6.3%》	6.2　《2.8%》	17.8　《7.4%》	72.5　《14.0%》	R5 作物統計調査	
森林面積（1,000ha）		24,436.0　《64.6%》	57.0　《29.9%》	76.2　《34.6%》	93.4　《38.7%》	217.5　《42.0%》	R2 農林業センサス	
総生産（億円） （H30・名目値）		565兆5,865　－	40兆1,956　(7.1%)	107兆418　(18.9%)	35兆7,171　(6.3%)	40兆9,372　(7.2%)	H30 県民経済計算	
一人あたり県民所得 （千円）		3,317	3,190	5,415	3,268	3,728		
職員数 （人）	一般行政	237,810　《17.8%》	7,814　《10.5%》	20,837　《15.3%》	7,697　《14.5%》	9,018　《14.3%》	地方公共団体 定員管理調査 （R5.4.1現在）	
	教育	811,857　《60.7%》	43,260　《58.3%》	68,499　《50.1%》	27,980　《52.7%》	39,560　《62.7%》		
	警察	287,904　《21.5%》	23,119　《31.2%》	47,346　《34.6%》	17,418　《32.8%》	14,538　《23.0%》		

（注）（　）は全国に占める割合、《　》は区分ごとの構成比である。

6. 財政力指数と標準財政規模



6. 財政力指数と標準財政規模

年 度	財政力指数	標準財政規模（億円）
H1	1.10168	13,119
H5	1.09763	11,732
H10	0.92320	12,907
H15	0.69793	11,703
H20	0.82541	15,105
H21	0.80766	14,681
H22	0.75983	14,993
H23	0.71815	15,161
H24	0.71737	15,496
H25	0.72787	15,674
H26	0.73756	15,772
H27	0.74979	16,313
H28	0.76505	16,420
H29	0.77760	15,558
H30	0.78763	15,695
R1	0.79205	15,776
R2	0.79157	15,980
R3	0.75219	16,809
R4	0.74187	16,614
R5	0.73179	17,071
R6	0.75994	17,161

（注1）財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指数で、普通交付税上の基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値をいう。

（注2）標準財政規模とは、地方公共団体の標準的な状態で通常収入とされるであろう経常的一般財源の規模を示すもので、下記の計算式によって算定されたものである。

（注3）H20以降、標準財政規模には臨時財政対策債発行可能額を含む。

（注4）財政力指数のピークはH3で、1.22004。

【R6】標準財政規模計算式

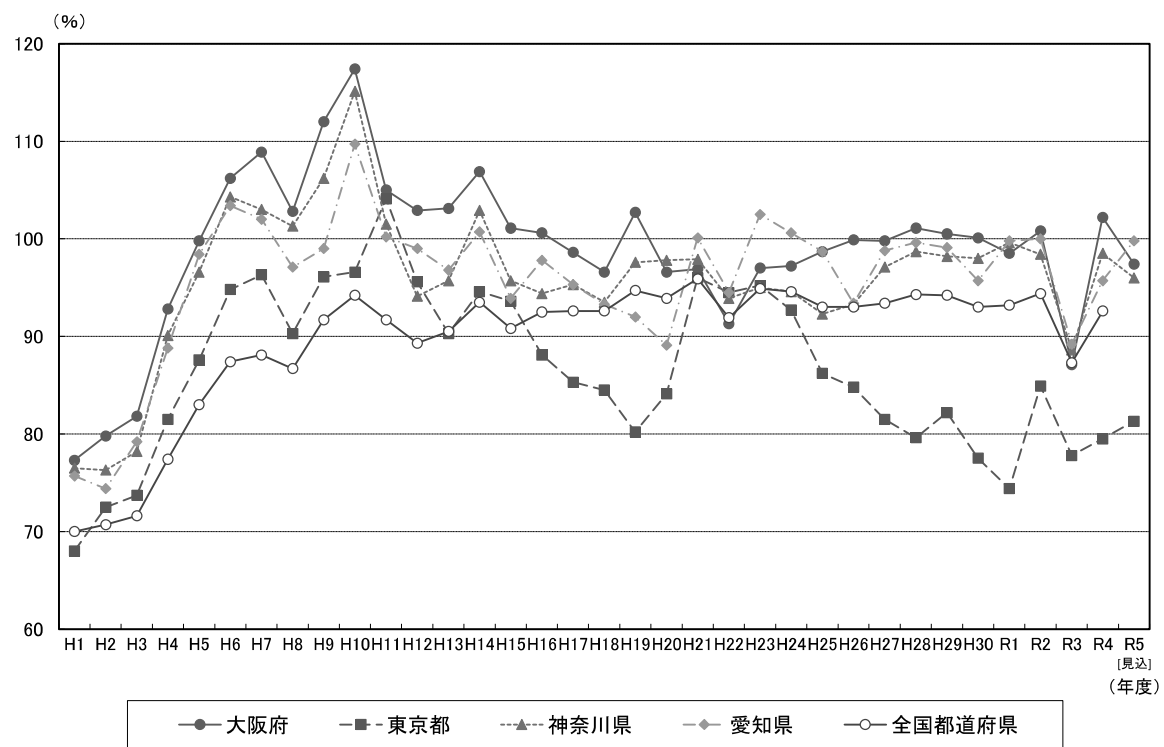
（基準財政収入額－A＋B－C）×100／75－B＋C＋普通交付税＋臨時財政対策債発行可能額

A：所得割（三位一体改革による税源移譲分）×0.25＋所得割（県費負担教職員の給与負担事務の権限移譲に伴う税源移譲に係る減額分）×0.25＋地方消費税（引上げ分）×0.25

B：分離課税所得割交付金

C：地方譲与税（特別法人事業譲与税を除く）＋交通安全対策特別交付金

7. 経常収支比率の推移（普通会計）



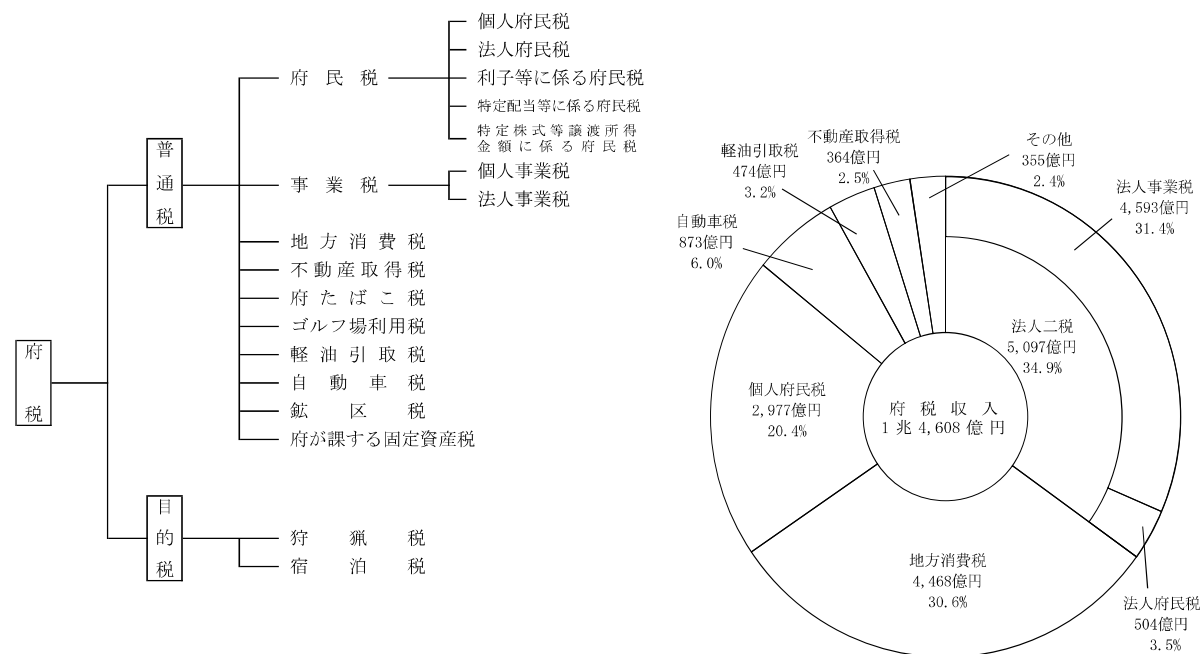
7. 経常収支比率の推移（普通会計）

年 度	都道府県	大阪府	東京都	神奈川県	愛知県	全都道府県	大阪府 全国順位
		%	%	%	%	%	
H1		77.3	68.0	76.5	75.7	70.0	46
H5		99.8	87.6	96.6	98.4	83.0	47
H10		117.4	96.6	115.1	109.7	94.2	47
H15		101.1	93.6	95.7	93.9	90.8	47
H20		96.6	84.1	97.8	89.1	93.9	28
H21		96.9	96.0	97.9	100.1	95.9	36
H22		91.3	94.5	93.9	94.5	91.9	26
H23		97.0	95.2	95.0	102.5	94.9	43
H24		97.2	92.7	94.6	100.6	94.6	44
H25		98.7	86.2	92.3	98.7	93.0	46
H26		99.9	84.8	93.3	93.4	93.0	47
H27		99.8	81.5	97.1	98.8	93.4	47
H28		101.1	79.6	98.7	99.6	94.3	47
H29		100.5	82.2	98.2	99.1	94.2	47
H30		100.1	77.5	98.0	95.7	93.0	47
R1		98.5	74.4	99.6	99.8	93.2	43
R2		100.8	84.9	98.4	100.0	94.4	47
R3		87.1	77.8	88.6	89.2	87.3	17
R4		102.2	79.5	98.5	95.7	92.6	47
(見込) R5		97.4	81.3	96.0	99.8	—	—

(注) 経常収支比率 … 府税、地方譲与税などの経常的な一般財源が、人件費や公債費や扶助費などの経常的経費に充当される割合。

8. 府 税 収 入 の 状 況

(1) 府税の種類と税目別の収入金額（令和6年度当初予算）



(2) 府税収入の推移①

(単位：億円)

区分 年度	計		《参考》計（清算前）		う　ち　個　人　府　民　税			う　ち　地　方　消　費　税			《参考》うち地方消費税（清算前）		う　ち　法　人　二　税		
		増減率		増減率		増減率	構成比		増減率	構成比		増減率		増減率	構成比
		%		%		%	%		%	%		%		%	%
H1	14,075	9.4	14,075	9.4	1,825	△ 5.9	13.0	-	-	-	-	-	8,352	10.8	59.3
H5	11,369	△ 10.9	11,369	△ 10.9	2,190	△ 3.2	19.3	-	-	-	-	-	5,152	△ 19.0	45.3
H10	11,523	0.0	11,870	0.5	1,806	△ 13.4	15.7	2,055	284.8	17.8	2,403	191.9	4,322	△ 18.1	37.5
H15	9,909	△ 1.6	10,752	△ 0.7	1,521	△ 5.4	15.3	1,814	△ 7.6	18.3	2,657	△ 2.3	3,802	7.0	38.4
H20	12,813	△ 4.6	13,567	△ 4.9	3,303	1.2	24.3	1,803	△ 3.5	18.8	2,557	△ 5.4	5,235	△ 7.6	38.6
H21	10,270	△ 19.8	10,946	△ 19.3	3,256	△ 1.4	29.7	1,745	△ 3.2	22.1	2,421	△ 5.3	2,944	△ 43.8	26.9
H22	9,860	△ 4.0	10,657	△ 2.6	3,039	△ 6.7	28.5	1,954	12.0	25.8	2,752	13.7	2,629	△ 10.7	24.7
H23	9,702	△ 1.6	10,427	△ 2.2	2,979	△ 1.9	28.6	1,883	△ 3.6	25.0	2,608	△ 5.2	2,687	2.2	25.8
H24	9,936	2.4	10,696	2.6	3,101	4.1	29.0	1,893	0.5	24.8	2,652	1.7	2,780	3.5	26.0
H25	10,442	5.1	11,171	4.4	3,352	8.1	32.1	1,983	4.8	19.0	2,712	2.3	3,049	9.7	29.2
H26	11,003	5.4	12,021	7.6	3,410	1.7	31.0	2,328	17.4	21.2	3,346	23.4	3,292	7.9	29.9
H27	12,840	16.7	14,276	18.8	3,470	1.8	27.0	3,639	56.3	28.3	5,074	51.6	3,689	12.1	28.7
H28	12,992	1.2	14,159	△ 0.8	3,371	△ 2.9	25.9	3,502	△ 3.8	27.0	4,669	△ 8.0	4,080	10.6	31.4
H29	13,289	2.3	14,999	5.9	3,539	5.0	26.6	3,400	△ 2.9	25.6	5,109	9.4	4,285	5.0	32.2
H30	12,778	△ 3.8	14,570	△ 2.9	2,966	△ 16.2	23.2	3,326	△ 2.2	26.0	5,117	0.2	4,419	3.1	34.6
R1	13,039	2.0	14,599	0.2	2,950	△ 0.5	22.6	3,301	△ 0.8	25.3	4,860	△ 5.0	4,702	6.4	36.1
R2	12,813	△ 1.7	14,765	1.1	3,039	3.0	23.7	3,750	13.6	29.3	5,702	17.3	4,103	△ 12.7	32.0
R3	13,960	9.0	16,031	8.6	3,135	3.2	22.4	4,277	14.1	30.6	6,348	11.3	4,565	11.3	32.7
R4	14,521	4.0	16,531	3.1	3,112	△ 0.7	21.4	4,375	2.3	30.1	6,384	0.6	4,946	8.4	34.1
R5	14,812	2.0	16,918	2.3	3,269	5.0	22.1	4,383	0.2	29.6	6,489	1.6	5,088	2.9	34.4
R6	14,608	△ 1.4	16,640	△ 1.6	2,977	△ 8.9	20.4	4,468	1.9	30.6	6,499	0.2	5,097	0.2	34.9

(注1) H29以前の計及び地方消費税の額は、地方消費税清算特別会計の設置（H30.4）に伴い、清算後の数値に調整して記載。

なお、《参考》計（清算前）及び《参考》うち地方消費税（清算前）の数値は、清算前の数値を記載。

(注2) 計のピークはH2の14,731億円だったが、R5に14,812億円で更新。

(注3) 計及び地方消費税には一般会計における数値を記載。

(2) 府税収入の推移②

(単位：億円)																
区分 年度	計		《参考》計（清算前）		う ち 自 動 車 税			う ち そ の 他 の 税			府 税 実 質 収 入		地方消費税関連実質収入		《参考》特別法人事業譲与税	
		増 減 率		増 減 率		増 減 率	構 成 比		増 減 率	構 成 比		増 減 率		増 減 率		増 減 率
		%		%		%	%		%	%		%		%		%
H1	14,075	9.4	14,075	9.4	678	2.1	4.8	3,221	18.3	22.9	13,320	10.0	-	-	-	-
H5	11,369	△ 10.9	11,369	△ 10.9	822	3.4	7.2	3,205	△ 4.0	28.2	10,603	△ 11.0	-	-	-	-
H10	11,523	0.0	11,870	0.5	957	1.4	8.3	2,382	△ 11.3	20.7	9,577	△ 8.8	1,044	244.9	-	-
H15	9,909	△ 1.6	10,752	△ 0.7	916	△ 2.7	9.2	1,856	△ 7.2	18.7	8,333	△ 1.5	887	△ 21.4	-	-
H20	12,813	△ 4.6	13,567	△ 4.9	859	△ 2.3	6.3	1,614	△ 7.6	11.9	11,096	△ 4.3	909	△ 0.5	-	-
H21	10,270	△ 19.8	10,946	△ 19.3	846	△ 1.5	7.7	1,479	△ 8.4	13.5	8,925	△ 19.6	802	△ 11.8	464	-
H22	9,860	△ 4.0	10,657	△ 2.6	825	△ 2.5	7.7	1,413	△ 4.4	13.3	9,376	5.1	1,012	26.2	1,026	121.1
H23	9,702	△ 1.6	10,427	△ 2.2	815	△ 1.2	7.8	1,338	△ 5.3	12.8	9,375	△ 0.0	943	△ 6.8	1,130	10.1
H24	9,936	2.4	10,696	2.6	807	△ 1.0	7.5	1,356	1.3	12.7	9,575	2.1	951	0.8	1,170	3.5
H25	10,442	5.1	11,171	4.4	801	△ 0.7	7.7	1,257	△ 7.3	12.0	10,245	7.0	1,049	10.3	1,414	20.9
H26	11,003	5.4	12,021	7.6	794	△ 0.9	7.2	1,180	△ 6.1	10.7	10,954	6.9	1,196	14.1	1,707	20.7
H27	12,840	16.7	14,276	18.8	781	△ 1.6	6.1	1,261	6.9	9.8	11,858	8.3	1,779	48.7	1,542	△ 9.7
H28	12,992	1.2	14,159	△ 0.8	776	△ 0.7	6.0	1,263	0.2	9.7	12,045	1.6	1,831	3.0	1,298	△ 15.8
H29	13,289	2.3	14,999	5.9	778	0.3	5.9	1,287	1.9	9.7	11,667	△ 3.1	1,708	△ 6.7	1,348	3.9
H30	12,778	△ 3.8	14,570	△ 2.9	785	0.9	6.1	1,283	△ 0.3	10.0	11,890	1.9	1,672	△ 2.1	1,524	13.1
R1	13,039	2.0	14,599	0.2	811	3.4	6.2	1,275	△ 0.6	9.8	12,359	3.9	1,723	3.1	1,492	△ 2.1
R2	12,813	△ 1.7	14,765	1.1	839	3.5	6.5	1,082	△ 15.1	8.5	11,347	△ 8.2	1,829	6.2	1,258	△ 15.7
R3	13,960	9.0	16,031	8.6	837	△ 0.2	6.0	1,146	5.9	8.3	12,285	8.3	2,186	19.5	1,410	12.1
R4	14,521	4.0	16,531	3.1	868	3.7	6.0	1,220	6.5	8.4	13,052	6.3	2,187	0.1	1,660	17.7
(改定見込) R5	14,812	2.0	16,918	2.3	872	0.5	5.9	1,201	△ 1.6	8.0	13,246	1.5	2,209	1.0	1,667	0.4
(概算予想) R6	14,608	△ 1.4	16,640	△ 1.6	873	0.1	6.0	1,193	△ 0.6	8.1	12,990	△ 1.9	2,288	3.6	1,623	△ 2.6

(注1) 実質収入とは、（府税＋譲与税＋精算金収入）－（税関連の交付金＋精算金支出＋還付金等）である。
(注2) H29以前の計の額は、地方消費税清算特別会計の設置（H30.4）に伴い、清算後の数値に調整して記載。なお、《参考》計（清算前）の数値は、清算前の数値を記載。
(注3) 地方消費税関連実質収入とは、地方消費税 ー（地方消費税交付金＋徴収取扱費）である。
(注4) 特別法人事業譲与税とは、R1税制改正により、従来の法人事業税（地方税）の一部を特別法人事業税（国税）として徴収し、各都道府県に人口を基準として再配分するもの。
過去との比較のため、参考として掲載（R1以前については地方法人特別譲与税の数値を記載）。
(注5) その他の税、府税実質収入のピークはH2で、それぞれ4,042億円、13,510億円。

(3) 主要都府県の税収の推移(決算)①

(単位:億円)

区分 年度	大阪府			東京都			神奈川県			愛知県			全都道府県		
	法人二税	＜参考＞ 特別法人 事業譲与税		法人二税	＜参考＞ 特別法人 事業譲与税		法人二税	＜参考＞ 特別法人 事業譲与税		法人二税	＜参考＞ 特別法人 事業譲与税		法人二税	＜参考＞ 特別法人 事業譲与税	
H1	14,075	8,352	－	30,463	18,468	－	10,220	5,221	－	10,622	5,884	－	147,541	74,834	－
H5	11,369	5,152	－	23,191	11,160	－	9,210	3,224	－	9,552	4,128	－	138,779	53,301	－
H10	11,870	4,322	－	27,803	11,253	－	9,353	2,835	－	10,877	4,021	－	153,195	50,689	－
H15	10,752	3,802	－	26,078	10,726	－	8,592	2,628	－	10,197	4,205	－	136,931	44,083	－
H20	13,567	5,235	－	35,063	16,222	－	12,441	3,743	－	13,339	5,543	－	179,280	62,661	－
H21	10,946	2,944	464	28,003	8,776	791	10,365	2,032	402	9,608	2,074	387	146,545	33,879	6,405
H22	10,657	2,629	1,026	27,038	7,605	1,748	9,744	1,809	890	9,158	2,074	856	140,262	30,109	14,159
H23	10,427	2,687	1,130	26,136	7,421	1,991	9,848	1,907	991	8,938	2,031	933	137,940	30,259	15,427
H24	10,696	2,780	1,170	26,747	7,991	2,822	9,975	1,979	1,030	9,255	2,217	967	141,456	31,857	16,709
H25	11,171	3,049	1,414	28,770	9,271	3,014	10,439	2,150	1,245	9,989	2,467	1,169	147,739	35,142	19,803
H26	12,021	3,292	1,707	30,483	9,978	3,619	11,122	2,344	1,502	11,185	3,724	1,411	156,835	39,793	23,879
H27	14,276	3,689	1,542	38,569	11,368	2,689	12,467	2,591	1,366	12,497	3,655	1,281	180,222	43,530	21,027
H28	14,159	4,080	1,298	39,046	12,671	2,327	12,372	2,830	1,172	12,663	4,007	1,094	181,140	48,168	17,776
H29	14,999	4,285	1,348	39,255	12,327	2,423	12,723	2,974	1,219	11,923	3,326	1,138	183,967	47,538	18,452
H30	14,570	4,419	1,524	40,883	13,433	2,740	11,528	3,078	1,378	12,275	4,024	1,287	183,280	50,780	20,865
R1	14,599	4,702	1,492	42,222	14,650	2,682	11,176	2,991	1,349	12,006	3,864	1,260	183,437	52,063	20,427
R2	14,765	4,103	1,258	42,398	12,621	441	11,639	2,788	1,299	11,553	3,396	1,065	183,687	46,303	16,606
R3	16,031	4,565	1,410	48,079	14,911	502	12,101	2,884	1,463	11,983	3,580	1,198	198,868	52,545	18,535
R4	16,531	4,946	1,660	49,333	16,404	603	13,243	3,298	1,735	12,949	4,383	1,417	207,352	57,655	21,659
(決算見込) R5	16,918	5,088	1,667	49,528	16,990	605	13,612	3,494	1,742	13,245	4,314	1,422	209,063	58,680	21,744

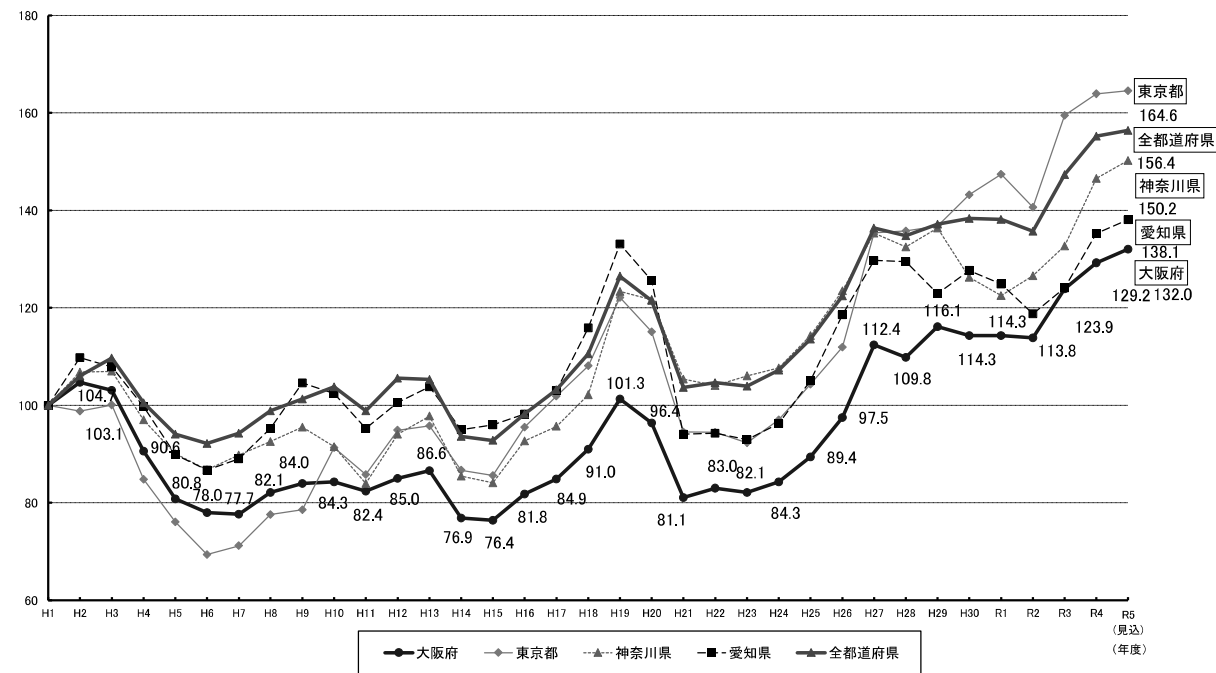
(注1) R5の他都県及び全都道府県の税収及び法人二税の額は地方行政調査会資料、特別法人事業譲与税の額は特別法人事業譲与税譲与額一覧による。

(注2) R1以前の特別法人事業譲与税の額は、地方法人特別譲与税の額を記載。

(注3) 地方消費税は清算前の額から引いた額として記載。

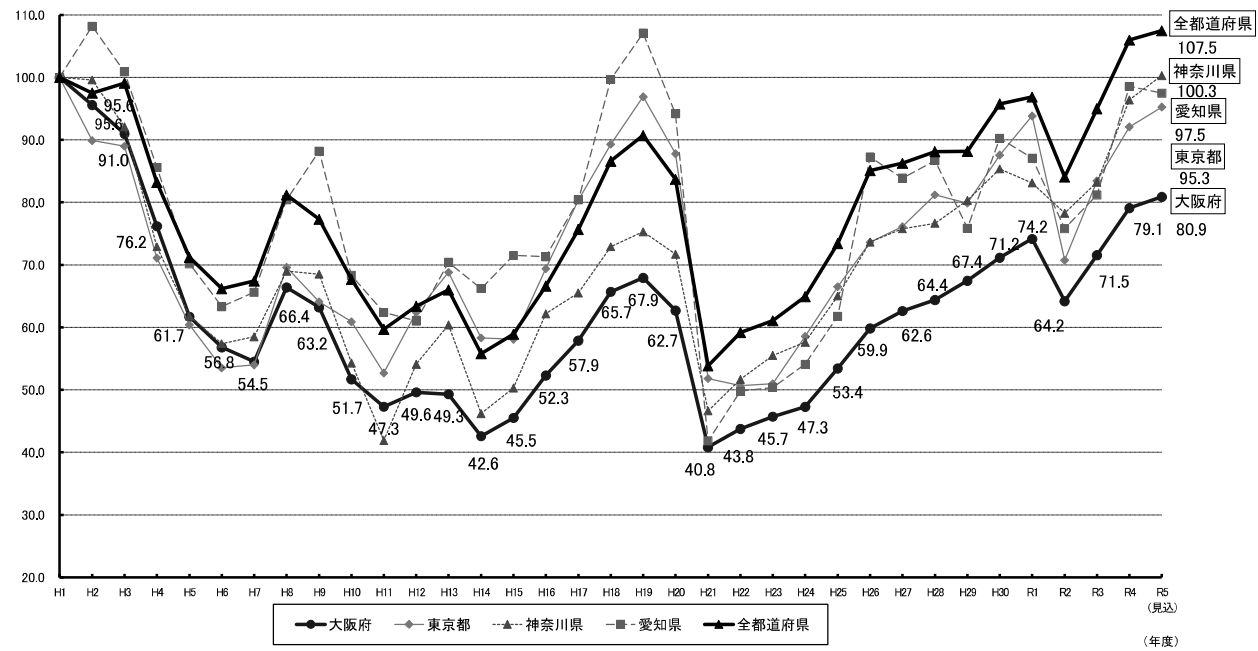
(注4) 愛知県の税収のピークはH19の14,135億円、法人二税のピークはH2の6,368億円。

主要都府県の税収等の推移（決算）②（税収総額+特別法人事業譲与税）（平成元年度の税収を基準＝100）



(注1) H19に3兆円規模の所得税から個人住民税への税源移譲。
(注2) H26、4月より地方消費税の税率が1%から1.7%へ引上げ。
(注3) H26、10月より地方法人税が創設、法人府民税の一部が国税化。
(注4) H30より府費負担教職員制度見直しによる政令市へ個人府民税2%の税源移譲。
(注5) R1、10月より地方消費税の税率が1.7%から2.2%へ引上げ。
(注6) R1、10月より地方法人税率引き上げ、法人府民税率引き下げ。
(注7) R1以前の特別法人事業譲与税には地方法人特別譲与税の額を記載。

主要都府県の税収の推移（決算）③〔法人二税+特別法人事業譲与税〕（平成元年度の税収を基準＝100）



(4) 令和6年度における主な税制改正の概要（道府県税分）

1 個人住民税の定額減税

令和6年度分の個人住民税について、納税義務者の令和6年度分の個人住民税に係る合計所得金額が1,805万円（給与収入2,000万円）以下である場合に限り、納税義務者及び配偶者を含めた扶養家族1人につき1万円の減税を実施する。

2 外形標準課税の適用対象法人の見直し

- (1)外形標準課税の対象法人について、現行基準（資本金1億円超）を維持した上で、当分の間、前事業年度に外形標準課税の対象であった法人であって、当該事業年度に資本金1億円以下で、資本金と資本剰余金の合計額が10億円を超えるものは、外形標準課税の対象とする。（令和7年4月1日以後に開始する事業年度から適用する。なお、公布日（令和6年3月30日）前に外形標準課税の対象であった法人が、「駆け込み」で減資を行った場合で、上記の基準に該当するときは、外形標準課税の対象とする所要の措置を講じる。）
- (2)資本金と資本剰余金の合計額が50億円を超える法人等の100%子法人等のうち、資本金1億円以下で、資本金と資本剰余金の合計額が2億円を超えるものは、外形標準課税の対象とする。（令和8年4月1日以後に開始する事業年度から適用する。また、上記改正により、新たに外形標準課税の対象となる法人に係る税負担の激変緩和措置を講じる。）

3 不動産取得税の特例措置の延長

- (1)住宅及び土地に係る税率の特例措置（4%→3%）の適用期限を3年延長し、令和9年3月31日までとする。
- (2)宅地評価土地に係る課税標準の特例措置（2分の1）の適用期限を3年延長し、令和9年3月31日までとする。

4 法人事業税の付加価値割における賃上げへの対応

法人税における賃上げへの対応に合わせ、継続雇用者の給与総額の対前年度増加率に係る適用要件等を見直した上で、雇用者全体の給与総額の増加額を付加価値額から控除する措置を講じる。（令和6年4月1日から令和9年3月31日までの間に開始する各事業年度における時限措置）

5 森林環境譲与税に係る譲与基準の見直し

これまでの譲与税の活用実績等を踏まえ、「私有林人工林面積」の譲与割合を5.5割（現行5割）、「人口」の譲与割合を2.5割（現行3割）とする。

現行	見直し案
5割：私有林人工林面積	5.5割：私有林人工林面積
2割：林業就業者数	2割：林業就業者数
3割：人口	2.5割：人口

6 航空機燃料譲与税に係る譲与基準の見直し

着陸料に代えて、新たな譲与基準として「航空機の重量×着陸回数（延べ重量）」及び「旅客数」を用いる。

現行の譲与割合	着陸料割 1/2		騒音世帯数割 1/2	
見直し後の譲与割合	延べ重量割 1/4	旅客数割 1/4	騒音世帯数割 1/2	

延べ重量及び旅客数については、空港対策に関する財政需要との対応性を考慮し、必要な減額・増額補正を行う。

7 納税環境整備（地方公金に係るeLTAX経由での納付）

eLTAXを通じた電子納付の対象に地方税以外の地方公金を追加することとし、地方税共同機構の業務に公金収納事務を追加する。

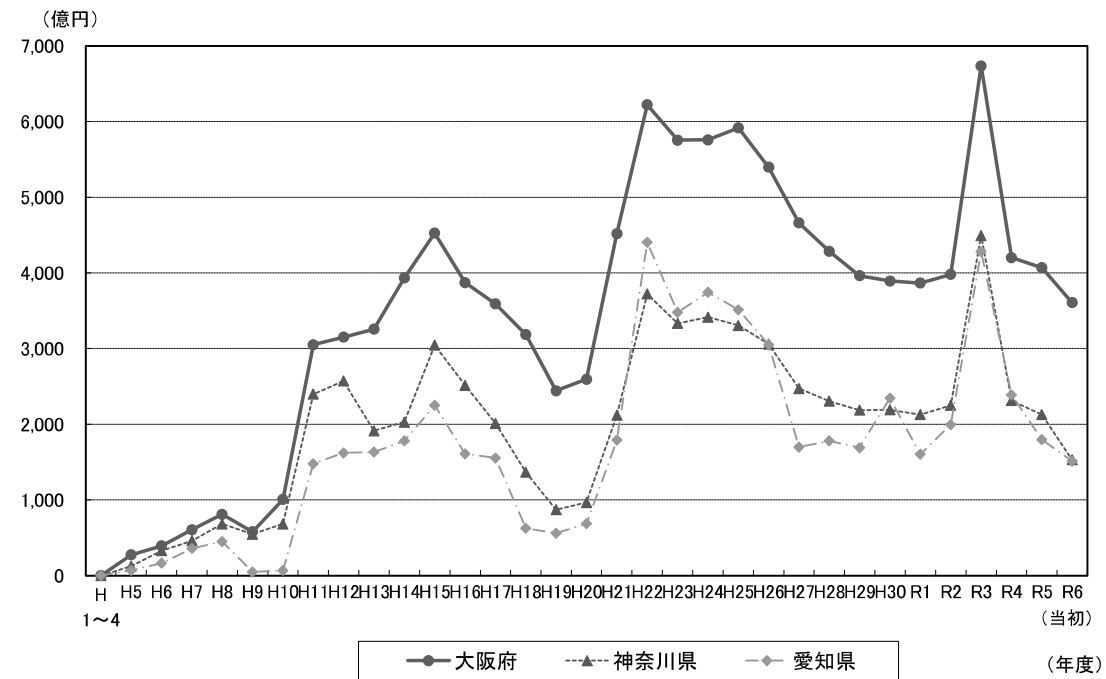
(5) 超過課税の状況①〔法人事業税〕・〔法人府民税法人税割〕

	法人事業税（昭和 50 年 11 月～）						法人府民税法人税割（昭和 51 年 11 月～）							
趣旨	道路網などの都市基盤整備や防災対策の充実にいった大都市圏特有の緊急かつ膨大な財政需要に対処するため													
適用期限	令和 8 年 10 月 31 日までに終了する事業年度													
対象	資本金 1 億円超又は年収入 4 億円超、年所得 5 千万円超の法人						資本金 1 億円超又は法人税額年 2 千万円超の法人							
税率	特別法人事業税導入前の標準税率(本則)の 5%相当の率を同税導入後の標準税率に上乘せ						標準税率に 1%上乘せ							
	区分				R4. 4. 1～		標準税率		超過税率					
	普通法人 (※ 1)	資本金 1 億円超 (外形対象法人)		所得割		1. 0%		1. 18%		1. 0%		2. 0%		
				付加価値割		1. 2%		1. 26%						
				資本割		0. 5%		0. 525%						
		上記以外	所得割	400 万円以下		3. 5%		3. 75%						
				400 万円超 800 万円以下		5. 3%		5. 665%						
				800 万円超		7. 0%		7. 48%						
	特別法人		所得割	400 万円以下		3. 5%		3. 75%						
				400 万円超		4. 9%		5. 23%						
	収入金課税法人	特定電気・小売・供給・	資本金 1 億円超 (外形対象法人)		収入割		0. 75%		0. 8025%					
					付加価値割		0. 37%		0. 3885%					
					資本割		0. 15%		0. 1575%					
		上記以外	収入割	収入金額		0. 75%		0. 8025%						
所得割				1. 85%		1. 9425%								
電気供給業（※ 2）・導管ガス供給業・保険業・貿易保険業		収入割	収入金額		1. 0%		1. 065%							
			収入金額		0. 48%		0. 5190%							
			付加価値割		0. 77%		0. 8085%							
特定ガス供給業		資本割		0. 32%		0. 3360%								
※ 1：一般ガス供給業を含む ※ 2：発電・小売・特定卸供給事業を除く														
超過課税実施都道府県数	8 都府県（大阪府含む） （令和 6 年 4 月 1 日現在）						46 都道府県（大阪府含む） （令和 6 年 4 月 1 日現在）							
超過課税による増収額（億円）		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (決算見込)			
	法人事業税	192	207	213	235	240	254	226	253	277	286			
	法人府民税法人税割	107	109	116	126	133	144	108	148	153	151			

(5) 超過課税の状況②〔法人府民税均等割〕〔個人府民税均等割（森林環境税）〕

	法人府民税均等割（平成 13 年 4 月～）										個人府民税均等割（森林環境税（平成 28 年度～））																																																	
趣旨	大阪経済の成長に向けた施策を推進するため										森林及び都市の緑の有する公益的機能を維持増進するための環境の整備として実施する災害の防止及び暑熱環境の改善に係る施策に必要な財源を確保するため																																																	
適用期限	令和 7 年 3 月 31 日までに開始する事業年度										令和 10 年 3 月 31 日																																																	
対象	資本金 1 千万円超の法人										個人府民税均等割の納税義務者 （府内に住所がある個人、府内に家屋敷等がある個人）																																																	
税率	標準税率の 2 倍 ※資本金 1 千万円超 1 億円以下の法人は 1.5 倍										個人府民税均等割標準税率に 300 円加算																																																	
	法人等の区分 (資本金等の額)					税率(年額)					区分					府民税					市町村民税					合計																																		
						超過					標準					個人住民税(均等割)					1,800 円					3,500 円					5,300 円																													
	50 億円超					160 万円					80 万円					内 訳					均等割					1,000 円					3,000 円					4,000 円																								
	10 億円超 50 億円以下					108 万円					54 万円										復興特別税					500 円					500 円					1,000 円																								
	1 億円超 10 億円以下					26 万円					13 万円										森林環境税					300 円					—					300 円																								
	1 千万円超 1 億円以下					7 万 5 千円					5 万円																																																	
	1 千万円以下					—					2 万円																																																	
	超過課税実施 都道府県数	35 府県（大阪府含む） （令和 6 年 4 月 1 日現在）										37 府県（大阪府含む） （令和 6 年 4 月 1 日現在）																																																
超過課税に よる増収額 （億円）	<table><tr><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5(決算見込)</td></tr><tr><td>55</td><td>54</td><td>54</td><td>54</td><td>55</td><td>53</td><td>53</td><td>54</td><td>55</td><td>54</td></tr></table>										H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5(決算見込)	55	54	54	54	55	53	53	54	55	54	<table><tr><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5(決算見込)</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td>10</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td></tr></table>										H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5(決算見込)	—	—	10	12	12	12	13	13	13	13
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5(決算見込)																																																			
55	54	54	54	55	53	53	54	55	54																																																			
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5(決算見込)																																																			
—	—	10	12	12	12	13	13	13	13																																																			

9. 地方交付税等交付状況



(注) 地方交付税等は、地方交付税(決定額)に臨時財政対策債発行可能額を含めたものとしている。